

(様式第9)

九大院医医第67号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

九州大学病院長
久保 千

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告致します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	463人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	650人	0人	650人	看護業務補助	15人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	230人	0人	230人	理学療法士	12人	臨床検査技師	82人
薬剤師	63人	0人	63人	作業療法士	10人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	40人	0人	40人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,102人	8.5人	1,110.5人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	0人	2人	栄養士	0人	その他の技術員	12人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯科技工士	5人	事務職員	271人
管理栄養士	6人	0人	6人	診療放射線技師	64人	その他の職員	35人

※ 非常勤欄は非常勤の単純人数

※ 合計欄は非常勤を常勤換算した人数と常勤の人数の合計(小数点第2位を切り捨て)

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,092人	36人	1,128人
1日当たり平均外来患者数	1,929人	605人	2,534人
1日当たり平均調剤数	4,916剤		

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋腫核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎等の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白質の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(突発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血液新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(抗乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩、若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重傷の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険郡と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽種のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎間狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重傷BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全塞栓のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性なもの(後縦靭帯骨化症、脊椎間狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
抹消血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存(骨又は靱帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靱帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根幹治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(性双眼から転移したもの)に限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。)であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。)においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	16人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	9人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	85人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	168人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	49人
・多発性硬化症	184人	・ウエゲナー肉芽腫症	14人
・重症筋無力症	148人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人
・全身性エリテマトーデス	375人	・多系統萎縮症	20人
・スモン	7人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	56人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	116人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・原発性胆汁性肝硬変	98人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	201人	・重症急性膵炎	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	77人	・特発性大腿骨頭壊死症	156人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	40人
・潰瘍性大腸炎	322人	・原発性免疫不全症候群	40人
・大動脈炎症候群	53人	・特発性間質性肺炎	10人
・ピュルガー病	39人	・網膜色素変性症	114人
・天疱瘡	28人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	65人	・原発性肺高血圧症	14人
・クローン病	249人	・神経繊維腫症	27人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	28人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	187人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	7人
・後縦靭帯骨化症	65人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週2回程度 月8回程度		
剖検の状況	剖検症例数	80 例	部検率 24 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関与する遺伝子の同定	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	1,320万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤S)
幹細胞制御に関わるマイクロRNAのプロスペクティブな分離・同定法の開発	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
白血病幹細胞の生存維持機構	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	200万円	補委 厚生労働省がん研究助成金
特発性造血障害に関する調査研究	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	200万円	補委 厚生労働省がん研究助成金
Bリンパ系腫瘍における腫瘍性幹細胞の同定	宮本 敏浩	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	90万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
抗アポトーシス遺伝子MCL-1の白血病幹細胞化における役割	宮本 敏浩	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	1,010万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
抗アポトーシス蛋白MCL-1の急性骨髄性白血病における病態形成の役割解明	宮本 敏浩	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	200万円	補委 武田科学振興財団
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	長藤 宏司	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
同種末梢血幹細胞移植を非血縁者間で行う場合等の医学、医療、社会的基盤に関する研究	長藤 宏司	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	80万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設共同医師主導治験による新規医薬品の効果に関する臨床的エビデンス創出と新移植技術の開発研究	長藤 宏司	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	300万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
白血病幹細胞を特異的に発現するmicroRNAの同定と、micro RNAを標的とした新規治療法開発についての基礎的検討	竹中 克斗	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	50万円	補委 公益信託日本白血病研究基金
造血幹細胞の生着を規定するマクロファージSirpa遺伝子多型の解析	竹中 克斗	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	100万円	補委 先進医薬研究振興財団血液医学分野一般研究助成金
白血病幹細胞に特異的に発現するmiRNA/転写因子の同定とその機能解析	竹中 克斗	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
階層的な血球分化モデルに基づく白血病幹細胞の純化・同定	亀崎 健次郎	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	90万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
アレルツスマブを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のための研究	原田 実根	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	50万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
原発性胆汁性肝硬変の発症・病態形成に関与する自免疫疫・獲得免疫の解析	下田 慎治	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
PBC肝臓における CX3CLIの産生	下田 慎治	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	40万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
膜型TNFの機能解析と自己免疫疾患の病態解明ならびに治療への応用	堀内 孝彦	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	190万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
TNF/TNF受容体ファミリー分子の細胞内輸送機構の解明と炎症性疾患への応用	三苦 弘喜	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	150万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
腎不全による記憶障害に対する酸化ストレスの影響および苔状線維の変化とエリスロポエチンの効果	鶴屋 和彦	消化管内科 腎・高血圧・脳 血管内科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
血液透析患者の至適PTH濃度に関する検討	谷口 正智	消化管内科 腎・高血圧・脳 血管内科	100万円	補委 日本腎臓財団
骨粗鬆症コホート集団の高密度SNP解析による骨密度規定遺伝子群の同定と機能解析	高柳 涼一	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	770万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
ステロイドホルモン誘導性non-coding RNAの生理機能と発現調節機構の解明	高柳 涼一	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	70万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	中村 和彦 (分担研究者)	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	350万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
リアルタイムイメージングによるSERMの組織特異的作用メカニズムの検討	河手 久弥	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
PPAR γ 大腸上皮特異的KOマウスを用いた炎症性腸炎と腸炎後腫瘍発生機構の解明	足立 雅広	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
先端融合医療レドックスナビ拠点の形成	井口 登典志	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	2,000万円	補委 科学技術振興機構 科学技術振興調整費
慢性疾患のガイドライン診療普及法の開発・実証研究	中島 直樹	内分泌代謝・糖尿 病内科 肝臓・膵臓・胆道内 科	700万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
腸内細菌とストレス反応:動物実験と臨床研究の融合による統合的解明	久保 千春 吉原 一文	心療内科	559万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
幼少期の心理的ストレスは成長後の喘息発症・増悪に影響は与えるか?	久保 千春 吉原 一文	心療内科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
ユビキタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、遠隔教育システム、患者登録・長期観察システムに関する研究	久保 千春	心療内科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性疼痛における失感情傾向、疼痛認知、疼痛対処についての実証的研究	有村 達之、 細井 昌子、 久保 千春	心療内科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
心身症に関する実証的研究	久保 千春	心療内科	100万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究
CIDP惹起性自己反応性Th17細胞の認識抗原の同定	河村 信利	神経内科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック血圧制御システムの開発	砂川 賢二	循環器内科	1,660万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤S)
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	砂川 賢二、 富永 隆治	循環器内科、 心臓外科	15,000万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
植え込み型突然死防止装置の開発	砂川 賢二	循環器内科	110万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築	砂川 賢二	循環器内科	70万円	補委 科学技術振興機構 科学技術振興調整費
動脈硬化病変(再狭窄、不安定プラーク)に対する画期的な血管内治療システムの創製— 壺長類モデル作製から臨床応用まで—	江頭 健輔	循環器内科	4,643.4万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
未来医療を拓く我が国発世界標準の生体完全吸収性ナノテクDDS制御ステントの開発	江頭 健輔	循環器内科	480万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
アドレノジュリン封入ナノ粒子溶出ステントの創製を基盤とする動脈硬化性疾患の新規治療法開発	江頭 健輔	循環器内科	150万円	補委 国立循環器病センター
我が国発 世界標準の生体完全吸収性 ナノテクDDSステントの開発	江頭 健輔	循環器内科	1,000万円	補委 テルモ科学技術振興財団
抗炎症分子を利用した血管病変の画期的な治療法と新規遺伝子デリバリーシステムの開発	市来 俊弘	循環器内科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
温熱療法による心不全改善効果: 自宅で簡単に出来る新しい心不全治療の開発	竹本 真生	循環器内科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
心血管系のPHD2を標的とした血管新生誘導の試みと治療への応用	武田 宏太郎	循環器内科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究	戸高 浩司	循環器内科	120万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
心不全を有さない高血圧患者群に対するアルドステロン拮抗薬追加の有用性に関する研究	西坂 麻里	循環器内科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
心不全増悪の脳内機序解明: 脳内ナトリウム感受性亢進と交感神経活性化	伊藤 浩司	循環器内科	175.5万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手スタートアップ)
心不全における交感神経活性化の脳内機序解明: 特に脳内Na感受性亢進の役割	伊藤 浩司	循環器内科	100万円	補委 先進医薬研究振興財団
ウェーブレット解析法を用いた重症心不全に対する新たな診断・治療法の開発	岸 拓弥	循環器内科	143万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
原発性肺高血圧症の成因及び肺血管リモデリングに関する研究	岸 拓弥	循環器内科	110万円	補委 国立循環器病センター

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
メタボリック症候群における高血圧:交感神経系活性化の脳内機序解明及び治療法の開発	廣岡 良隆	循環器内科	442万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
メタボリックシンドロームにおける高血圧発症機転としての交感神経系の役割	廣岡 良隆	循環器内科	100万円	補委 木村記念循環器財団
SOCS-mimeticsの開発とアレルギー疾患治療への応用	井上 博雅	呼吸器科	1,000万円	補委 医薬基盤研究所(保健医療分野における基礎研究推進事業)
子宮内膜細胞の老化逸脱へのゲノム多様性の関与と癌幹細胞における不死化能獲得機構	和氣 徳夫	産科婦人科	871万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
進行再発卵巣癌に対するがん休眠状態を目指したテーラーメイド化学療法の基礎的臨床的研究	小林 裕明	産科婦人科	182万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
子宮体癌のパクリタキセル耐性における微小管結合蛋白質Taの関与についての研究	上岡 陽亮	産科婦人科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
子宮頸癌におけるセンチネルリンパ節術中転移診断法によるリンパ節郭清術省略の試み	小川 伸二	産科婦人科	182万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
卵巣癌のパクリタキセル耐性機序に関わる候補遺伝子の同定	奥川 馨	産科婦人科	299万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
子宮体癌における対立遺伝子間発現量の相違	谷口 秀一	産科婦人科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ヒトモデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	小児科	480万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
慢性活動性EBウイルス感染症の感染細胞特性と治療に関する研究	大賀 正一	小児科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
分類不能型低ガンマグロブリン血症の病態・原因の解明	高田 英俊	小児科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
劇症型A群レンサ球菌感染症の発症メカニズムの解明	齋藤 光正	小児科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
小児感染症関連脳症における新たなバイオマーカーの探索	鳥巢 浩幸	小児科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
アポトーシス関連分子およびサイトカインの包括的検討による小児悪性腫瘍の病態解析	古賀 友紀	小児科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
川崎病モデルマウスを用いた動脈炎発症・進展における遺伝子治療に関する研究	宗内 淳	小児科	120万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
PD-1経路と小児1型糖尿病:疾患感受性と遺伝子発現解析	堤 康	小児科	120万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
サルモネラ感染症発症の病態および関連する宿主遺伝要因の解明	保科 隆之	小児科	150万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
早産児・極低出生体重児の出生時高サイトカイン血症が発達に及ぼす影響の検討	金城 唯宗	小児科	120万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
熱性けいれんの病態解析と疾患感受性遺伝子の同定	田中 珠美	小児科	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
日本人におけるBCG副反応および抗酸菌易感染性に関連する宿主遺伝要因の探索	佐々木 由佳	小児科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	原 寿郎(代表)	小児科	4,255万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	原 寿郎(分担)	小児科	100万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
造血障害の研究・教育交流拠点の形成とアジア血液学の創出	原 寿郎	小児科	990万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	田中 雅夫	第一外科	68万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
大腸癌特異的な標的分子(ガンマ・セクレターゼ作用分子)の同定と臨床応用への展開	山口 幸二	第一外科	1,287万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
学術用高速インターネットを用いたアジア遠隔医療システム構築のための体系的調査研究	清水 周次	第一外科	715万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
高速マイクロダイセクションによる膵癌遺伝子診断とナノテクノロジーによる治療予測	水元 一博	第一外科	533万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
膵癌幹細胞の同定とニッチの機能解析～膵癌の治療抵抗性を克服するために	水元 一博	第一外科	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
IPMNパラフィン包埋組織のmRNA定量解析と機能解析-IPMN治療の新機軸確立	永井 英司	第一外科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
癌の臓器特異性を基盤としたヒト化マウスを用いた癌性幹細胞療法の開発	中村 雅史	第一外科	1,131万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
新規遺伝子改変マウスにおけるWeel遺伝子の膵発癌への関与とその臨床的意義	富永 洋平	第一外科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
内分泌シグナル系と形態形成シグナル系のクロストークを応用した乳癌治療法開発	小島 雅之	第一外科	104万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
膵癌治療抵抗性関連microRNAの同定とその制御による治療感受性増強	当間 宏樹	第一外科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
膵癌におけるマイクロRNAの発現と機能解析	高畑 俊一	第一外科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
膵癌早期診断および治療法開発を目的とした新規メチレーションマーカーの同定	佐藤 典宏	第一外科	598万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
膵癌幹細胞及び癌幹細胞ニッチ相互作用を標的とした新規膵癌治療	大内田 研宙	第一外科	1,092万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
癌幹細胞を標的とする人ロウウイルスを用いた癌幹細胞特異的新規Drug Delivery activation system(DDAS)の確立	大内田 研宙	第一外科	500万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
膵癌癌幹細胞とニッチの同定	大内田 研宙	第一外科	200万円	補委 武田科学振興財団
癌幹細胞を支持するニッチの同定とその発現・機能解析	大内田 研宙	第一外科	100万円	補委 財団法人膵臓病研究財団
膵癌幹細胞の同定と癌幹細胞の周囲に存在し癌幹細胞を支持するニッチ細胞の同定および癌幹細胞や癌幹細胞のニッチ相互作用を標的とした新規治療戦略の確立	大内田 研宙	第一外科	200万円	補委 財団法人日本消化器病学会
膵癌癌幹細胞の同定と癌幹細胞を標的にした治療法の開発	大内田 研宙	第一外科	300万円	補委 財団法人中島記念国際交流財団
膵癌特異的OncomicroRNAの同定と膵液膵癌診断への応用	大内田 研宙	第一外科	50万円	補委 財団法人医療・介護・教育研究財団
Metabolic profilingにより同定された膵癌特異的代謝産物の膵液解析による膵癌術前診断への応用	大内田 研宙	第一外科	50万円	補委 財団法人大阪癌研究会
癌関連PSCのprospective isolationによる選択/同定と特定のPSC癌相互作用を標的とした新規膵癌治療の開発	大内田 研宙	第一外科	300万円	補委 財団法人がん研究振興財団
膵癌におけるmicroRNA発現とその機能; 早期診断、個別化治療への応用	大内田 研宙	第一外科	200万円	補委 財団法人加藤記念バイオサイエンス研究振興財団
c-kitによる膵癌幹細胞同定と標的治療	大内田 研宙	第一外科	100万円	補委 貝原守一医学振興財団
膵癌前駆病変におけるセネセンスの果たす役割とその臨床応用	宮坂 義浩	第一外科	174万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
治療標的となる乳癌幹細胞の再生・維持機構の解析と治療応用への展開	久保 真	第一外科	286万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為化比較試験	前原 喜彦	第二外科	5487.9万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
肝硬変症における肝内微小循環障害の分子機序解明と肝機能改善のための新規治療の開発	前原 喜彦	第二外科	715万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
肝移植後肝癌再発に対する核酸シヤペロンを用いた新規IL-12遺伝子治療の開発	副島 雄二	第二外科	364万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
日本人トリプルネガティブ乳癌の分子機序の解明と革新的治療法の開発に関する研究	徳永 えり子	第二外科	247万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
ナノバブルを用いた新規遺伝子治療による細胞外マトリックス制御による内膜肥厚抑制	伊東 啓行	第二外科	234万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	岩本 幸英	整形外科	31,428万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金(がん臨床研究事業)
腫瘍性骨破壊における血管新生と破骨細胞分化および骨吸収の相互作用の解明	岩本 幸英	整形外科	2,800万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
ナノテクノロジーを用いた慢性炎症性疾患の治療法の開発	中島 康晴	整形外科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脂質代謝異常および過凝固の観点からのステロイド性骨壊死の病態解析と予防法の開発	山本 卓明	整形外科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
関節炎による軟骨変性の早期変化に対する新しい解析法の確立	岡崎 賢	整形外科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
閉経期骨粗鬆症の神経系を介した新規発症メカニズムの解析	土井 俊郎	整形外科	140万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
微細構造からみた骨粗鬆症患者の骨質・骨強度評価	馬渡 太郎	整形外科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
変異型MMP2による骨破壊機序の研究	福士 純一	整形外科	182万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
関節発生におけるヘパラン硫酸の役割の解明	松本 嘉寛	整形外科	91万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
細胞ベースの人工関節の開発	中山 功一	整形外科	117万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
変形性関節症による慢性疼痛に関する、末梢神経の可塑的变化について	神宮司 誠也	整形外科	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脳血管攣縮におけるPAR-1の機能解析、および新規G蛋白質共役受容体の検索	佐々木 富男	脳神経外科	494万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
髄芽腫におけるSOX4遺伝子発現意義と治療への応用	庄野 禎久	脳神経外科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
腫瘍幹細胞におけるmicroRNA発現とシグナル伝達異常	溝口 昌弘	脳神経外科	468万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
骨髄由来幹細胞が有する脳腫瘍へのtropismに関する検討	吉本 幸司	脳神経外科	65万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
グリオーマ浸潤制御による新たな治療法の開発	松本 健一	脳神経外科	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
グリオーマにおけるp53リン酸化と標的遺伝子の選択性に関する検討	天野 敏之	脳神経外科	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
細胞周期調節因子p 27制御による心筋細胞増殖の試み:臨床応用に向けた基礎的研究	富永 隆治	心臓外科	507万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
免疫寛容による臓器(心臓)移植:薬剤誘導性免疫寛容系の展開	富田 幸裕	心臓外科	858万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
長期使用可能な小児補助循環の開発	塩川 祐一	心臓外科	169万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ウサギの脊髄虚血モデルに対するRho-kinase阻害薬の脊髄保護効果の検討	中島 淳博	心臓外科	143万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
抑制性T細胞の同種心移植における有用性の検討	清水 一郎	心臓外科	175.5万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究スタートアップ)
新規ナノDDS技術を基盤とする静脈グラフト不全に対する革新的ナノ治療の創製	木村 聡	心臓外科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究	(分担) 富永 隆治	心臓外科	70万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
小児固形悪性腫瘍に対する新規ベクターを用いた樹状細胞免疫遺伝子治療開発	田尻 達郎	小児外科	50万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
先天性横隔膜ヘルニアの新しい胎児治療戦略-細胞外マトリックス代謝の観点から-	増本 幸二	小児外科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ウイルス腫瘍の新規血清腫瘍マーカーとしてのGlypican3の有用性の検討	木下 義晶	小児外科	200万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ヒルシュスプルング病の無神経節腸管の分子生理学からみた病態解析に関する研究	秋吉 潤子	小児外科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
神経芽腫におけるSNPアレイを用いた全遺伝子解析に基づく生物学的多様性解析	宗崎 良太	小児外科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Gjaノックアウトマウスを用いた低形成肺発生機序の解明に関する分子生物学的研究	永田 公二	小児外科	90万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
小腸移植における虚血プレコンディショニングの効果に関する検討	佐伯 勇	小児外科	134万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究スタートアップ)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
神経芽腫における SNP-array とマイクロディセクションによる悪性度の層別化	宗崎 良太	小児外科	80万円	補委 財団法人がんの子供を守る会
小腸移植における拒絶反応および免疫抑制剤がカハール細胞に与える影響に関する研究	松浦 俊治	小児外科	50万円	補委 財団法人臨床研究奨励基金
新しい非侵襲的検査を用いた小児肝移植至適時期に関する研究	高橋 由紀子	小児外科	50万円	補委 財団法人 医療・介護・教育研究財団
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科	34,970万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	古江 増隆	皮膚科	5,000万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	師井 洋一	皮膚科	380万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤 誠二	泌尿器科	27,499万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金(がん臨床研究事業)
ヒトおよびモルモット排尿筋における膀胱出口閉鎖とカルシウム感受性調整機序の関連	関 成人	泌尿器科	156万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
マウス腎癌ミニ移植モデルにおけるメカニズムの解析と抗腫瘍効果の増強に向けた検討	江藤 正俊	泌尿器科	208万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
腎細胞癌に対するインターフェロンの作用とインターフェロン+樹状細胞療法との検討	立神 勝則	泌尿器科	78万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
過活動膀胱の分子生物学的・電気生理学的特性を解明し、新治療の可能性を探る	梶岡 俊一	泌尿器科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(特別研究促進費)
双極性障害における脳内報酬回路の機能障害の解明:基礎的および臨床的研究の統合	神庭 重信	精神科神経科	572万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
中枢神経炎症調整薬としての非定型抗精神病薬の役割に関する研究	門司 晃	精神科神経科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
統合失調症と双極性障害の共通性・異種性を探る-脳画像・脳機能研究-	鬼塚 俊明	精神科神経科	208万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
Functional MRI による社会不安障害の脳機能研究	中尾 智博	精神科神経科	130万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
脳画像の数理統計的処理と精神疾患への応用	上野 雄文	精神科神経科	247万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
抗うつ薬・気分安定薬およびBDNFによる脳内ミクログリア活性化の制御機序解明	溝口 義人	精神科神経科	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
機能的MRIを用いた強迫性障害の脳機能研究:治療効果と脳機能変化の検討	中尾 智博	精神科神経科	39万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
Functional MRI による脊髄機能診断法の開発	上野 雄文	精神科神経科	26万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
双極性障害の神経生理・画像・分子遺伝学的研究	神庭 重信	精神科神経科	600万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アルツハイマー病の危険因子の解明に関する大規模ゲノム疫学研究	神庭 重信	精神科神経科	1,500万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	神庭 重信	精神科神経科	2,000万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	神庭 重信	精神科神経科	43万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充に関する研究	川寄 弘詔	精神科神経科	80万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立に関する研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	140万円	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
糖尿病網膜症に伴う増殖組織の発症進展因子に関するゲノム医学、疫学的研究	石橋 達朗	眼科	490万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
増殖性網膜硝子体疾患の病態解明ならびに新規治療薬開発	畑 快右	眼科	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
脈絡膜新生血管に伴う網膜下癥痕病巣形成の抑制	園田 康平	眼科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
網膜芽細胞腫に対する腫瘍自己溶解型ウイルスを用いた新規治療の開発	吉川 洋	眼科	190万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
hPEDF(ヒト色素上皮由来因子)による視細胞保護効果の分子メカニズム解析	池田 康博	眼科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
新規遺伝子導入ベクター構築を用いた加齢黄斑変性の治療法開発	宮崎 勝徳	眼科	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
核酸代謝酵素をターゲットとしたオーダーメイド頭頸部癌放射線化学療法の基本研究	中島 寅彦	眼科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
医工学連携による1ミリ以下の要求に応える耳科ナビゲーション手術の開発	松本 希	眼科	1,222万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手A)
肺癌低位照射の肺生物学的および物理学的先行指標に関する研究	塩山 善之	放射線科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
3次元CTを用いた胃がん内視鏡的粘膜下層剥離術粘膜つまみ法の開発	松浦 秀司	放射線科	208万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
経皮的椎体形成術の治療効果と続発性骨折の予後因子の解明	樋渡 昭雄	放射線科	104万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワークイメージングの開発とその臨床応用	吉浦 敬	放射線科	91万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
大腿骨頭の局所血流を評価する新たな磁気共鳴パラメータ開発	本田 浩	放射線科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
造影ダイナミック、拡散、スペクトロスコーピー磁気共鳴を用いた乳癌予後予測所見の研究	藪内 英剛	放射線科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
心筋収縮能に関連する新たな磁気共鳴パラメータの開発	畠中 正光	放射線科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	林 純	総合診療科	600万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化にかんする研究	林 純	総合診療科	300万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
頸動脈エコーからみた動脈硬化症の疫学的研究	林 純	総合診療科	150万円	補委 公益信託日本動脈硬化予防研究会
ミトコンドリアDNAの異常発生機構解析に基づいた体系的診断システムの構築	康 東天	検査部	1,443万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
体細胞ミトコンドリアゲノム遺伝情報の維持とその発現:老化と疾患	康 東天	検査部	500万円	補委 日本学術振興会二国間交流事業(共同研究)
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	康 東天	検査部	100万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
日本人の病的血管リモデリングに関する分子病理学的研究	居石 克夫	病理部	1,850万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
「脱リン酸化」の視点から見る腫瘍細胞機能修飾の分子病理に関する萌芽的研究	居石 克夫	病理部	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
血管・リンパ管新生過程における細胞相互シグナルとその修飾機構の分子病理学的解明	中川 和憲	病理部	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
腫瘍内投与活性化樹上細胞の抗腫瘍効果と腫瘍内微小環境改変機構の解明	岡野 慎士	病理部	170万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
悪性骨軟部腫瘍の転移におけるケモカインレセプターおよび血管新生の関与	小田 義直	病理部	70 万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
R-spondin1の腸管保護による造血幹細胞移植の成績向上の試み	豊嶋 崇徳	遺伝子・細胞療法部	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
成人T細胞白血病(ATL)に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	豊嶋 崇徳	遺伝子・細胞療法部	150万円	補委 厚生労働省がん研究臨床研究事業
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	豊嶋 崇徳	遺伝子・細胞療法部	100万円	補委 厚生労働省がん研究臨床研究事業
成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	豊嶋 崇徳	遺伝子・細胞療法部	100万円	補委 厚生労働省がん研究臨床研究事業
同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究	豊嶋 崇徳	遺伝子・細胞療法部	30万円	補委 厚生労働省免疫アレルギー疾患等予防・治療 研究事業
Notch-1を発現するヒト造血前駆細胞の純化と分化能解	岩崎 浩己	遺伝子・細胞療法部	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
新規抗体を用いたマウスIL-25レセプター発現細胞の同定・純化	有信 洋二郎	遺伝子・細胞療法部	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	月森 清巳	総合周産期母子医療センター	120万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
絨毛細胞の血管内皮様分化における細胞系列並びに分化誘導刺激の特異性に関する研究	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター	169万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
分娩拠点病院の創設と産科2次医療圏の設定による産科医師の集中化モデル事業	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター	280万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ハイリスク妊娠症例における胎児中枢神経系機能評価の前方視的検討	諸隈 誠一	総合周産期母子医療センター	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
胎児心時相解析ならびに大動脈脈波波形解析を用いた新たな胎児心循環機能評価法の開発	藤田 恭之	総合周産期母子医療センター	416万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
ドプラ心弁信号と大動脈波微小変位計測法を用いた非侵襲的ヒト胎児心循環評価法の開発	湯元 康夫	総合周産期母子医療センター	195万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
疾病感受性ゲノム情報による集団リスク階層化技術の開発と応用	中島 直樹	医療情報部	200万円	補委 日本科学技術振興機構(JST)シーズ発掘試験研究
超低侵襲消化器癌治療を実現する内視鏡ロボットシステムの開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	923万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
内視鏡外科手術における医療安全水準の向上を目指した教育・訓練システムの確立	田上 和夫	先端医工学診療部	78万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト	橋爪 誠	先端医工学診療部	460,011万円	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
マイクロマニピュレーション機能搭載カプセル型ロボットの開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	220万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
新規遺伝子治療ベクターの開発と悪性腫瘍モデルコモンマーモセットを用いた前臨床研究	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	1,000万円	補委 文部科学省科学研究費(特定領域)
進行・再発固形腫瘍に対する新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた免疫療法の開発	伊賀 睦了	先端分子・細胞治療科	273万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
レプチン(代謝調節ホルモン)と歯の萌出期の顎骨リモデリング	中村 由紀	小児歯科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手スタートアップ)
三次元頭部CT画像を用いた顎口腔機能4次元表示システムの構築	寺嶋 雅彦	矯正歯科	403万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
インターネットで送受信する頭部三次元形態画像と顎運動の遠隔分析・診断システム	寺嶋 雅彦	矯正歯科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
咬合を司る中枢神経系における抑制性シナプス情報伝達蛋白質の遺伝子発現制御機構	村上 絢子	矯正歯科	195万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手B)
歯の細胞外環境因子としてのネフロネクチンの分子機能解析	吉崎 恵吾	矯正歯科	174万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手スタートアップ)
包括的三次元鼻腔咽頭気道モデルの構築および顎変形症患者への応用	星野慶弘	矯正歯科	260万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
歯根膜再生の鍵を握る細胞とその必須の因子は何か?	赤峰 昭文	歯内治療科	494万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明と再生療法への応用	吉嶺 嘉人	歯内治療科	1,040万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤A)
ヒト歯根膜前駆細胞クローン株を用いた歯根膜組織再生機構の解明	前田 英史	歯内治療科	403万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
接着システムを応用した歯質保存的(MI)修復法の有効性に関する医療経済学的検討	畦森 雅子	歯内治療科	208万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
in vivo実験系を用いた歯周組織再生を促進する因子の同定	後藤 康治	歯内治療科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
ヒト歯根膜組織再生に関連した遺伝子の同定	藤井 慎介	歯内治療科	234万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Er:YAGレーザーによる根管内殺菌作用の増強法の開発	松本 妃可	歯内治療科	247万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Wntシグナル伝達経路をターゲットとした歯槽骨再生薬の開発に関する研究	松崎 英津子	歯周病科	230万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
ドラッグデリバリーシステムを用いた新規骨再生法の開発とその細胞内メカニズムの解明	古谷野 潔	義歯補綴科	410万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
上顎無歯顎患者への低侵襲インプラント治療のための生体力学的プロトコルの確立	松下 恭之	義歯補綴科	221万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
咀嚼機能の多軸評価に基づく補綴歯科治療の効果判定ツールの開発	築山 能大	義歯補綴科	150万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
Functional MRIを用いた接触機能の高次脳活動賦活化に関する研究	松山 美和	義歯補綴科	80万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
戦略的補綴治療としての補綴前骨造成を手術なしで行う手法の開発とその原理の検討	鮎川 保則	義歯補綴科	1,105万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
生体反応を考慮したブラキシズムの新規治療プロトコルの提案	市来 利香	義歯補綴科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
抜歯窩壁の骨吸収抑制はオッセオインテグレーションを促進するか	荻野 洋一郎	義歯補綴科	169万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
培養エナメル芽細胞を用いたエナメル質の再生と臨床応用	篠原 義憲	咬合補綴科	80万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
リン脂質ポリマー修飾によるバイオフィルム抑制効果	的野 良就	咬合補綴科	140万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
口腔自己免疫疾患発症における樹状細胞の役割に関する研究	梯 裕恵	顎口腔外科	143万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
Th17,Tregとサイトカインによる口腔粘膜疾患の制御機構	吉賀 大午	顎口腔外科	120万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(若手スタートアップ)
口腔扁平苔癬の発症および病態形成の分子機構におけるT細胞マイクロキメリズムの関与	林田 淳之介	顎口腔外科	110万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
遊離組織移植の生着率向上のための血管吻合手技と管理法の確立	笹栗 正明	顎口腔外科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
癌ペプチドを用いた口腔癌の早期診断法およびオーダメド免疫療法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	494万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
ドライマウスの分類および診断基準の確立ー唾液を用いた診断法についてー	中村 誠司	顎口腔外科	90万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
シェーグレン症候群とミクリッツ病/IgG4関連疾患の新概念	森山 雅文	顎口腔外科	247万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
p63とNotchシグナル伝達系を介した口腔白板症の癌化に関する研究	川野 真太郎	顎口腔外科	150万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
口腔がん幹細胞の分離と幹細胞を標的とした新規治療法の開発	白砂 兼光	顔面口腔外科	710万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
細胞の自己組織構築能を利用した唾液腺再生法の開発	白砂 兼光	顔面口腔外科	160万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
おとり遺伝子を用いた変形性関節症への新遺伝子治療法の展開	竹之下 康治	顔面口腔外科	90万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(萌芽)
4回膜貫通蛋白質テトラスパニンの癌転移抑制機構を利用した新規口腔癌治療法の開発	杉浦 剛	顔面口腔外科	370万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
シェーグレン症候群患者の唾液腺における唾液分泌異常の解明	大山 順子	顔面口腔外科	70万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
骨再生機序解明への新しい戦略—高気圧酸素負荷環境下における骨代謝について—	佐々木 匡理	顔面口腔外科	110万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
歯原性腫瘍の病態解析および局所注入療法の開発	二宮 史浩	顔面口腔外科	100万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
血管新生抑制を標的としたおとり遺伝子導入による癌遺伝子治療法の開発	蔵原 慎一	顔面口腔外科	130万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
唾液腺再生医療を目指した唾液腺分化機構の解明	碓 竜也	顔面口腔外科	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)
基底細胞母斑症候群の原因および関連遺伝子の解明	岡 正司	顔面口腔外科	135万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手スタートアップ)
癌治療への応用を目的とした癌転移抑制因子 CD82 の細胞間接着制御機能解析	阿部 正和	顔面口腔外科	134万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手スタートアップ)
造影MRIを用いた頭頸部 Kinetic Analysisの試み	吉浦 一紀	口腔画像診断科	65万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤C)
fMRIによる咀嚼機能と脳機能のダイナミック解析システムの開発	後藤 多津子	口腔画像診断科	500万円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)
骨伝導性と高耐蝕性を示すチタンインプラント材料の創製	山添 淳一	口腔総合診療科	169万円	補委 文部科学省科学研究費補助金(若手B)

計 252 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Immunology 180(11):7358-67, 2008	Human flt3 is expressed at the hematopoietic stem cell and the granulocyte/macrophage progenitor stages to maintain cell survival.	Kikushige Y et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
International Journal of Urology 15(8):694-698, 2008	Dendritic cell therapy in combination with interferon-alpha for the treatment of metastatic renal cell carcinoma.	Tatsugami K, Miyamoto T, Akashi K, Naito S. et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Leukemia 22: 87-95, 2008	Development of ET, primary myelofibrosis and PV in mice expressing JAK2 V617F.	Shide K, Kumano T, Takenaka K, Oku S, Harada M, Shimoda K. et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
International Journal of Hematology. 88(3):336-340, 2008	Successful treatment of parainfluenza virus 3 pneumonia with oral ribavirin and methylprednisolone in a bone marrow transplant recipient.	Shima T, Kamezaki K, Takenaka K, Miyamoto T, Akashi K, Nagafuji K. et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
International Journal of Hematology 88: 571-574, 2008	Additional acquisition of t(1;21)(p32;q22) in a patient relapsing with acute myelogenous leukemia with NUP98-HOXA9.	Aoki T, Miyamoto T, Kamezaki K, Takenaka K, Nagafuji K, Teshima T, Akashi K. et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Clinical Rheumatology 27(7):941-943 2008	An unexpected cause of a febrile patient with huge splenomegaly.	Nonami A, Nagafuji K, Teshima T. et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
European journal of haematology. 81(4):327 2008	Peripheral blood smear in a case of intravascular lymphoma.	Yoshida S, Nagafuji K.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Journal of Autoimmunity 31(2):110-5. 2008 9月	CD4 T-cell autoreactivity to the mitochondrial autoantigen PDC-E2 in AMA-negative primary biliary cirrhosis	Shimoda Shinji	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Rheumatology (Oxford) 47(6):821-7. 2008 6月	A dose-escalation study of rituximab for treatment of systemic lupus erythematosus and Evans' syndrome: Immunological analysis of B cells, T cells and cytokines.	Tamimoto Y, Horiuchi T, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Arthritis Rheum 58(5):1248-57. 2008 5月	Mechanisms for cytotoxic effects of anti-TNF agents on transmembrane TNF-expressing cells: comparison among infliximab, etanercept and adalimumab.	Mitoma H, Horiuchi T, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis Rheum 58(7):1940-6 2008 7月	Association of <i>STAT4</i> with susceptibility to rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus in Japanese.	Kobayashi S, Ikari K, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
J Infect Chemother 14(3):219-22 2008 6月	The relationship between the daily dosage of the carbapenem MEPM and MEPM-resistant <i>P. aeruginosa</i> .	Harashima SI, Kondo H, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
European Journal of Immunology 38(5):1423-1434 May 2008	B cell activation regulates exosomal HLA production	Shuji Arita, Eishi Baba, Yoshihiro Shibata, Hiroaki Niuro, Shinji, Shimoda, Taichi Isobe, Hiroshi Kusaba, Shuji Nakano, Mine Harada	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Anticancer Drugs. 20(2):123-30 2009 2月	Schedule-dependent synergistic interaction between gemcitabine and oxaliplatin in human gallbladder adenocarcinoma cell lines.	Makiyama A, Qin B, Uchino K, Shibata Y, Arita S, Isobe T, Hirano G, Kusaba H, Baba E, Akashi K, Nakano S.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Bone Marrow Transplant. 42(2):99-103 2008 7月	Allo-SCT using reduced-intensity conditioning against advanced pancreatic cancer: a Japanese survey.	Kanda Y, Omuro Y, Baba E, Oshima K, Nagafuji K, Heike Y, Takaue	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
J Infect Chemother 14(6):418-23. 2008 12月	An outbreak of <i>Pseudomonas aeruginosa</i> infections following thoracic surgeries occurring via the contamination of bronchoscopes and an automatic endoscope reprocessor.	Shimono N.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
J Infect Chemother 14(2):99-104 2008 4月	Antimicrobial susceptibility and molecular epidemiological analysis of clinical strains of <i>Pseudomonas aeruginosa</i> .	Shimono N.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科
Life Sci 83: 550-556, 2008	Involvement of p53-transactivated Puma in cisplatin-induced renal tubular cell death	Tsuruya K, Yotsueda H, Ikeda H, Taniguchi M, Masutani K, Hayashida H, Hirakata H, Iida M	消化管内科 陣・高血圧・脳 血管内科
Nephrol Dial Transplant 23: 3662-3669, 2008	Intravenous calcitriol therapy in an early stage prevents parathyroid gland growth	Taniguchi M, Tokumoto M , Tsuruya K, Hirakata H, Iida M	消化管内科 陣・高血圧・脳 血管内科
Clin Rheumatol. 2008 Sep.	Long-term follow-up after nonmyeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for systemic sclerosis.	Shiratsuchi M, et al.	内分泌代謝・糖 尿病内科 肝臓・膵臓・胆 道内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2008 May.	Inhibition of alpha-globin gene expression by RNAi.	Sarakul O, Abe Y, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int J Mol Med. 2008 Nov.	The significance of differences in fatty acid metabolism between obese and non-obese patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Nakamuta M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2009 Jan-Feb.	The effects of unsaturated fatty acids on lipid metabolism in HepG2 cells.	Kohjima M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int J Mol Med. 2008 Oct.	Therapeutic effect of ARBs on insulin resistance and liver injury in patients with NAFLD and chronic hepatitis C: a pilot study.	Enjoji M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Comp Hepatol. 2008 Aug.	A new parameter using serum lactate dehydrogenase and alanine aminotransferase level is useful for predicting the prognosis of patients at an early stage of acute liver injury: A retrospective study.	Kotoh K, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Hepatol Res. 2008Nov.	Liver X receptor in cooperation with SREBP-1c is a major lipid synthesis regulator in nonalcoholic fatty liver disease.	Higuchi N, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int J Mol Med. 2008 Apr.	SREBP-1c, regulated by the insulin and AMPK signaling pathways, plays a role in nonalcoholic fatty liver disease.	Kohjima M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
J Dig Dis.2008 Feb.	Investigation of hyperuricemia during pegylated-interferon-alpha2b plus ribavirin combination therapy in patients with chronic hepatitis C.	Yamashita N, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Cytotherapy.2008.	Preparation of functionally preserved CD4+CD25high regulatory T cells from leukapheresis products from ulcerative colitis patients, applicable to regulatory T-cell-transfer therapy.	隅田頼信、中村和彦、他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Endoscopy. 2009 Feb.	Impact of double balloon endoscopy for the diagnosis of jejunoileal involvement in primary intestinal follicular lymphoma: A case series.	隅田頼信、中村和彦、他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrinology. 2008 Sep.	Adipose tissue-derived and bone marrow derived mesenchymal cells develop into different lineage of steroidogenic cells by forced expression of SF-1	権藤重喜、野村政壽、他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Biochem Biophys Res Commun. 2008 May.	Methylation of a conserved intronic CpG island of mouse SF-1 is associated with cell-specific expression of SF-1 in a culture system but not with tissue-specific	白水久男、野村政壽、他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Endocrinology. 2008 Dec.	Functional potentiation of leptin-stat3 signaling by the androgen receptor.	Fan WQ、野村政壽、他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Diabetes Care 2008 Mar.	Optimal cut points of waist circumference for the clinical diagnosis of metabolic syndrome in the Japanese population.	Matoba Y, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 2008 Jly.	The Lack of the C-Terminal Domain of Adipose Triglyceride Lipase Causes Neutral Lipid Storage Disease through Impaired Interactions with Lipid Droplets.	Kobayashi, K., et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Metabolism 2008 Aug.	Differential effect of sulfonylureas on production of reactive oxygen species and apoptosis in cultured pancreatic beta-cell line, MIN6.	Sawada, F., et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Diabetes Research and Clinical Practice 2008 Oct.	High prevalence of peripheral arterial disease diagnosed by low ankle-brachial index in Japanese patients with diabetes: the Kyushu Prevention Study for Atherosclerosis.	Maeda, Y., et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Diabetes Research and Clinical Practice 2008 Sep.	Attenuated metabolic effect of waist measurement in Japanese female patients with type 2 diabetes mellitus.	Tajiri, Y., et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
American Journal of Physiology・Endocrinology and Metabolism 2008 Oct.	Pycnogenol, an extract from French maritime pine, suppresses Toll-like receptor 4-mediated expression of adipose differentiation-related protein in macrophages.	Gu, J.Q., et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Gastroenterology 2008; 134:2122-2121	The hepatic vagus nerve attenuates Fas-induced apoptosis in the mouse liver via α -7 nicotinic acetylcholine receptor	Tetsuya Hiramoto, Yoichi Chida, Junko Sonoda, Kazufumi Yoshihara, Nobuyuki Sudo, Chiharu Kubo	心療内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第24回健康医科学研究 助成論文集 pp102- 110, 2008	ヨーガがメンタルヘルスおよびストレス 感受性に及ぼす影響	平本哲哉、吉原 一文、久保千春	心療内科
Eating and Weight Disorders/ Studies on Anorexia, Bulimia and Obesity, vol.13198-204, 2008	BMI, body composition, and the energy requirement for body weight gain by patients with anorexia nervosa	Keisuke Kawai, Takeharu Yamanaka, Sakino Yamasita, Motoharu Gondo, Chihiro Morita, Chikako Arimura, Takehiro Nozaki, Masato Takii, Chiharu Kubo	心療内科
BioPsychoSocial Medicine 2(2),1-7, 2008	Green odor attenuates a cold pressor test-induced cardiovascular response in healthy adults.	Takakazu Oka, Sota Hayashida, Yuko Kaneda, Masaki Takenaga, Yoko Tamagawa, Sadatoshi Tsuji, and Akikazu Hatanaka	心療内科
J Biol Chem. 283,11064- 71, 2008	Prostaglandin E2 attenuates preoptic expression of GABAA receptors via EP3 receptors.	Hiroyoshi Tsuchiya, Takakazu Oka, Kazuhiro Nakamura,	心療内科
BioPsychoSocial Medicine 2009, 3:6	Age distribution and gender differences in psychogenic fever patients.	Yuko Kaneda , Sadatoshi Tsuji, Takakazu Oka	心療内科
BioPsychoSocial Medicine 2(5),1-8, 2008	Psychological and weight-related characteristics of patients with anorexia nervosa-restricting type who later developed bulimia	Hiroki Nishimura, ..., Takakazu Oka, Keisuke Kawai, Masato Takii, ...	心療内科
慢性疼痛 27(1), 2008	強い医療不信を示した難治性疼痛性 障害患者に、老年期の孤独感を対象 とした家族療法が奏功した症例	山下真、細井昌子、 嶋本正弥、野村幸 伸、小幡哲嗣、富岡 光直、山城康嗣、久 保千春	心療内科
International Journal of Neuropsychopharmacology 11: 261-267, 2008	Genetic polymorphisms in the 5- hydroxytryptamine type 3B receptor gene and paroxetine-induced nausea.	Misuzu Tanaka, ..., Masako Hosoi, et al.	心療内科
Human Molecular Genetics 15 October 2008; 17: 3191 - 3203.	Mice lacking the schizophrenia- associated protein FEZ1 manifest hyperactivity and enhanced responsiveness to psychostimulants.	N Sakae, J Kira, et al	神経内科
Journal of Clinical Neuroscience 15(9):1049, 1077, 2008 Sep	Acute onset facial numbness.	Kuroki N, Ohyagi Y, Kawano Y, Yoshiura T, Taniwaki T, Kira J.	神経内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床神経学 Vol. 49, No. 5 271-274, 2009	高齢で門脈大循環短絡脳症を発症した遺伝性出血性毛細血管拡張症の1女性例	福永真実	神経内科
Acta Neuropathologica 115(2):231-9 2008 Feb	Inflammatory mediators in diabetic and non-diabetic lumbosacral radiculoplexus neuropathy	Kawamura N, Dyck PJ, Schmeichel AM, et al.	神経内科
Journal of Neurological Science 267(1-2):107-11 2008 Apr 15	Decreased peripheral nerve damage after ischemia-reperfusion injury in mice lacking TNF-alpha	Wang Y, Kawamura N, Schmelzer JD, et al.	神経内科
Intern Med. 2009;48(4):213-7.	Chest pain without significant coronary stenosis after implantation of sirolimus-eluting stents.	Hiasa K, Takemoto M, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Hypertens Res. 2008 Nov;31(11):2075-83.	High salt intake enhances blood pressure increase during development of hypertension via oxidative stress in rostral ventrolateral medulla of spontaneously hypertensive rats.	Koga Y, Hirooka Y, Sunagawa K, et al.	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol. 2008 Dec;52(6):555-60.	Azelnidipine decreases sympathetic nerve activity via antioxidant effect in the rostral ventrolateral medulla of stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Konno S, Hirooka Y, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Circ J. 2009 Feb;73(2):381-3.	Intracardiac echocardiography-guided cardiac tumor biopsy.	Higo T, Takemoto M, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Free Radic Res. 2009 Jan;43(1):37-46.	Time-dependent changes of myocardial and systemic oxidative stress are dissociated after myocardial infarction.	Inoue T, Ide T, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Hypertens Res. 2008 Sep;31(9):1791-800.	Essential role of angiotensin II type 1a receptors in the host vascular wall, but not the bone marrow, in the pathogenesis of angiotensin II-induced atherosclerosis.	Koga J, Egashira K, Sunagawa K, et al.	循環器内科
J Hypertens. 2008 Nov;26(11):2176-84.	Mitochondria-derived reactive oxygen species mediate sympathoexcitation induced by angiotensin II in the rostral ventrolateral medulla.	Nozoe M, Hirooka Y, Sunagawa K, et al.	循環器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation. 2008 Sep 30;118(14 Suppl):S65-70.	Local delivery of imatinib mesylate (STI571)-incorporated nanoparticle ex vivo suppresses vein graft neointima formation.	Kimura S, Egashira K, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Auton Neurosci. 2008 Nov 3;142(1-2):77-81.	Activation of Rho-kinase in the brainstem enhances sympathetic drive in mice with heart failure.	Ito K, Kimura Y, Sunagawa K, et al.	循環器内科
J Neurosci. 2008 Aug 20;28(34):8624-34.	Reverse of age-dependent memory impairment and mitochondrial DNA damage in microglia by an overexpression of human mitochondrial transcription factor a in mice.	Hayashi Y, Yoshida M, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Circ Res. 2008 Aug 1;103(3):261-8.	Vascular endothelial growth factor receptor-1 regulates postnatal angiogenesis through inhibition of the excessive activation of Akt.	Nishi J, Minamino T, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Hypertension. 2008 Jun;51(6):1631-6.	Liver X receptor activator downregulates angiotensin II type 1 receptor expression through dephosphorylation of Spl.	Imayama I, Ichiki T, Sunagawa K, et al.	循環器内科
J Gene Med. 2008 Jul;10(7):805-9.	Long-term follow up of initial clinical cases with NF-kappaB decoy oligodeoxynucleotide transfection at the site of coronary stenting.	Egashira K, Suzuki J, Morishita R, et al.	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2008 Apr;30(3):267-76.	Effects of valsartan or amlodipine on endothelial function and oxidative stress after one year follow-up in patients with essential hypertension.	Hirooka Y, Kimura Y, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Intern Med. 2008; Apr; 47(8):813-4.	CARTO images after heart transplantation.	Takemoto M, Nishizaka M, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2008 Jul;28(7):1263-9.	SIRT1, a longevity gene, downregulates angiotensin II type 1 receptor expression in vascular smooth muscle cells.	Miyazaki R, Ichiki T, Sunagawa K, et al.	循環器内科
Free Radic Res. 2008 Apr;42(4):305-11.	Effect of anaesthesia-induced alterations in haemodynamics on in vivo kinetics of nitroxyl probes in electron spin resonance spectroscopy.	Tsutsumi T, Ide T, Sunagawa K, et al.	循環器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Respirology 13 (5), p.639-645, Sep 2008	Recombinant human erythropoietin reduces epithelial cell apoptosis and attenuates bleomycin-induced pneumonitis in mice.	前山 隆茂	呼吸器科
Respirology 14 (2), p.187-194, Mar 2009	Frequency of Foxp3+CD4CD25+ T cells is associated with the phenotypes of allergic asthma.	松元 幸一郎	呼吸器科
Am J Respir Cell Mol Biol. 39(4): 440-447, 2008.	The role of high mobility group box1 in pulmonary fibrosis.	濱田 直樹	呼吸器科
Journal of thoracic oncology 3 (10), p.1166-1171, Oct 2008	A phase II trial of gefitinib monotherapy in chemotherapy-naïve patients of 75 years or older with advanced non-small cell lung cancer.	中西 洋一	呼吸器科
Anticancer Res. 28 (2A), p.601-608, Mar 2008	Adenovirus-mediated inhibitor kappaB gene transfer improves the chemosensitivity to anticancer drugs in human lung cancer in vitro and in vivo.	高山 浩一	呼吸器科
Menopause 15 (3), p.442-453, May 2008	Medroxyprogesterone acetate inhibits proliferation of colon cancer cell lines by modulating cell cycle-related protein expression.	Tanaka, Y.	産科婦人科
Kyushu Bran. Jap. Soc. Clin. Cytol, 39: 45-50,2008.01.	子宮頸部病変におけるN/C比の検討－特に上皮内癌について－	仲 正喜	産科婦人科
Genes & development April 15, 2008 22: 986-991	Fbxw7 acts as a critical fail-safe against premature loss of hematopoietic stem cells and development of T-ALL.	Matsuoka, S.	産科婦人科
Human pathology Volume 39, Issue 10, October 2008, Pages 1446-1453	CD10 immunostaining distinguishes atypical polypoid adenomyofibroma (atypical polypoid adenomyoma) from endometrial carcinoma invading the myometrium.	Ohishi, Y.	産科婦人科
Oncogene 27, 6164-6174 (21 July 2008) doi:10.1038/onc.2008.216 Original Article	Notch-dependent cell cycle arrest and apoptosis in mouse embryonic fibroblasts lacking Fbxw7.	Ishikawa, Y.	産科婦人科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell cycle (Georgetown, Tex.) 7 (21), p.3307-3313, Nov 2008	Fbxw7 in cell cycle exit and stem cell maintenance: Insight from gene-targeted mice.	Onoyama, I.	産科婦人科
Pathology international 58 (12), p.757-764, Dec 2008	Malignant transformation of mature cystic teratoma to squamous cell carcinoma involves altered expression of p53- and p16/Rb-dependent cell cycle regulator proteins.	Iwasa, A.	産科婦人科
Cynecologic oncology 113 (2), p.270-276, May 2009	Induction of senescence by progesterone receptor-B activation in response to cAMP in ovarian cancer cells.	Takahashi, A.	産科婦人科
International journal of cancer. Journal international du cancer 124 (6), p.1429-1439, Mar 2009	Synergistic anti-tumor effect of paclitaxel with CRM197, an inhibitor of HB-EGF, in ovarian cancer.	Yagi, H.	産科婦人科
The journal of obstetrics and gynaecology research 34 (5), p.914-918, Oct 2008	Interstitial pregnancy in a woman with congenital afibrinogenemia.	Matsushita, I.	産科婦人科
International journal of cancer 124 (11), p.2577-2588, Jun 2009	Homeobox gene HOPX is epigenetically silenced in human uterine endometrial cancer and suppresses estrogen-stimulated proliferation of cancer cells by inhibiting serum response factor.	Yamaguchi, S.	産科婦人科
The American journal of surgical pathology, 32 (8), p.1228-1238, Aug 2008	Endometrial stromal sarcomas and related high-grade sarcomas: immunohistochemical and molecular genetic study of 31 cases.	Kurihara, S.	産科婦人科
Scand J Rheumatol 37:445-9, 2008	High mobility group box 1 (HMGB1) and macrophage migration inhibitory factor (MIF) in Kawasaki disease.	Hoshina T, Kusuhara K, Saito M, Mizuno Y, Tanaka T, Hara T:	小児科
Pediatr Res. 63(2):182-5, 2008	Genetic analysis of MMP gene polymorphisms in patients with Kawasaki disease.	Ikeda K, Ihara K, Yamaguchi K, Muneuchi J, Ohno T, Mizuno Y, Hara T:	小児科
J Neurovirol 18:1-6, 2008	TLR3 is associated with genetic susceptibility to subacute sclerosing panencephalitis.	Ishizaki Y, Takemoto M, Kira R, Kusuhara K, Torisu H, Sakai Y, Sanefuji M, Yukaya N, Hara T:	小児科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Immunol Lett 116: 55-63, 2008	Expression of cytokine-associated genes in dendritic cells (DCs): Comparison between adult peripheral blood- and umbilical cord blood-derived DCs by cDNA microarray.	Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Hattori H, Hara T:	小児科
Eur J Pediatr 167:587-9, 2008	An echovirus type 18 outbreak in a neonatal intensive care unit.	Kusuhara K, Saito M, Sasaki Y, Hikino S, Taguchi T, Suita S, Hayashi J, Wakatsuki K, Hara T:	小児科
Exp Hematol 36:401-411, 2008	Insulin-like growth factor II: an autocrine growth factor modulating the apoptosis and maturation of erythroid progenitors in umbilical cord blood.	Nagatomo T, Muta K, Ohga S, Ochiai M, Ohshima K, Hara T:	小児科
J Pediatr 152:90-95, 2008	An effective scoring system of chest CT for assessing the clinical status of neonatal bronchopulmonary dysplasia.	Ochiai M, Hikino S, Yabuuchi H, Nakayama H, Sato K, Ohga S, Hara T:	小児科
J Perinat Med 36:341-347, 2008	Long-term outcome in small-for-gestational age infants: an importance of head circumference at one year of age in the psychomotor development.	Ochiai M, Nakayama H, Sato K, Iida K, Hikino S, Ohga S, Tsukimori K, Wake T, Masumoto K, Taguchi T, Hara T:	小児科
Pediatr Infect Dis J 27:1027-1030, 2008	Epstein-Barr virus load in cerebrospinal fluid of patients with chronic active Epstein-Barr virus infection.	Ohga S, Sanefuji M, Ishimura M, Nomura A, Torisu H, Kira R, Takada H,	小児科
Pediatrics. 121(4):e892-9, 2008	Pulmonary hypertension in patients with congenital porto-systemic venous shunt: a previously unrecognized association.	Ohno T, Muneuchi J, Ihara K, Yuge T, Kanaya Y, Yamaki S, Hara T:	小児科
J Pediatr 152:885-887, 2008	Lipopolysaccharide-induced monocytic cell death for the diagnosis of mild neonatal-onset multisystem inflammatory disease.	Takada H, Ishimura M, Inada H, Ohga S, Kusuhara K, Moroi Y, Furue M, Hara T:	小児科
Gastroenterology 134(1):131-144	Gamma-secretase inhibitors enhance taxane-induced mitotic arrest and apoptosis in colon cancer cells.	Akiyoshi T	第一外科
Surgery Today 38(11):1021-1028	Surgery versus radiochemotherapy for resectable locally invasive pancreatic cancer: final results of a randomized multi-institutional trial.	Doi R	第一外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Cancer Research 14(6):1859-1867	Radiation enhances adenoviral gene therapy in pancreatic cancer via activation of cytomegalovirus promoter and increased adenovirus uptake.	Egami T	第一外科
Oncol Rep 20(1):33-39	Laminin-5 (gamma2 chain) is a marker of invading cancer cells in human gallbladder carcinoma: special emphasis on extension of carcinoma in situ along Rokitansky-Aschoff sinuses.	Eguchi T	第一外科
Cancer Sci 99(11):2244-2251	Quantitative analysis of hTERT mRNA levels in cells microdissected from cytological specimens.	Fujita H	第一外科
Hepatogastroenterology 55(82-83):641-646	Impaired liver regeneration after synchronous liver and colon resection in rats.	Hachiya Y	第一外科
Surgery Today 38(3):214-221	Intraoperative parathyroid hormone levels measured by intact and whole parathyroid hormone assays in patients with Graves' disease	Kai M	第一外科
Anticancer Res 28(2A):731-740	Novel link between estrogen receptor alpha and hedgehog pathway in breast cancer.	Koga K	第一外科
Histopathology 52(5):569-577	Flat adenoma-carcinoma sequence with high-malignancy potential as demonstrated by CD10 and beta-catenin expression: a different pathway from the polypoid adenoma-carcinoma sequence	Koga Y	第一外科
Cancer Sci. 99(7):1377-1384	Gli1 contributes to the invasiveness of pancreatic cancer through matrix metalloproteinase-9 activation.	Nagai S	第一外科
Anticancer Research 28(4B):2205-2212	Down-regulation of deoxycytidine kinase enhances acquired resistance to gemcitabine in pancreatic cancer	Ohhashi S	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 15(3):344-345	Live multi-station teleconferences at the First Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association via academic broadband Internet.	Shimizu S	第一外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Tech Coloproctol 12(3):217-223	Comparison of accuracy of endoanal ultrasonography for preoperative assessment in patients with acute and chronic anal fistula.	Toyonaga T	第一外科
Anticancer Res 28(4C):2401-2108	Regulatory T-cells are possible effect prediction markers of immunotherapy for cancer patients	Wada J	第一外科
Biochem Biophys Res Commun 376(3):499-503	Stomach cancer-derived del223V-226L mutation of the STCH gene causes loss of sensitization to TRAIL-mediated apoptosis.	Yamagata N	第一外科
CESNET Conference 2008 113-121	DVTS Videoconferencing with Quatre-A Reasonable Tool for Medical Multipoint Applications-	Shimizu S	第一外科
Cancer Lett 263(1):145-156	Crosstalk of hedgehog and Wnt pathways in gastric cancer	Yanai K	第一外科
J Infect Chemother 14(6):399-403	Risk factors for central venous catheter-related bloodstream infection: a 1073-patient study	Yoshida J	第一外科
Mol Cancer 2008(7):93-102	LIM only 4 is overexpressed in late stage pancreas cancer	Yu J	第一外科
日本消化器外科学会雑誌 41(3):277-282	肛囲部Paget病患者における肛門管重層扁平上皮部切除術後の直腸肛門機能の検討	石川 幹真	第一外科
Transplantation 87(3):445-450, February 15, 2009.	Donor risk in adult-to-adult living donor liver transplantation: impact of left lobe graft.	Taketomi A	第二外科
Journal of Surgical Oncology Volume 99, Issue 1, Date: 1 January 2009, Pages: 32-37	Characterization of hepatocellular carcinoma developed after achieving sustained virological response to interferon therapy for hepatitis C.	Sanefuji K	第二外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Surgical Oncology Volume 98, Issue 5, Date: 1 October 2008, Pages: 377-383	Expression of mismatch repair proteins, hMLH1/hMSH2, in non-small cell lung cancer tissues and its clinical significance.	Kouso H	第二外科
Cancer 2008 Sep 1;113(5):1012-8	Never-smoking nonsmall cell lung cancer as a separate entity: clinicopathologic features and survival.	Yano T	第二外科
Surgery, 143 (4), p.499-508, Apr 2008	Advances in esophageal cancer surgery in Japan: an analysis of 1000 consecutive patients treated at a single institute.	Morita M	第二外科
臨床スポーツ医学 25(9):1043-1047, 2008	【高齢運動器障害者の運動機能 治療と予防・改善のための取り組み】フラによる身体機能とQOLの向上効果	高杉紳一郎, 岩本幸英	整形外科
整形外科と災害外科 57(3):392-396, 2008	骨盤創外固定器を用いて集中治療を遂行しえた重症頭部外傷・骨盤骨折の1例	竹内直英, 岩本幸英	整形外科
九州リウマチ 28(2):70-74, 2008	RAにおける手指・足趾関節破壊と生物学的製剤による抑制効果	中島康晴, 岩本幸英,	整形外科
Osteoporosis Japan 16(1):54-56, 2008	有限要素法を用いたin vivoでの脊椎強度評価 関節リウマチにおける Alendronateの効果	馬渡太郎, 岩本幸英	整形外科
Arthritis Rheum 58(11):3340-3349, 2008	Vertebral strength changes in rheumatoid arthritis patients treated with alendronate, as assessed by finite element analysis of clinical computed tomography scans: a prospective randomized clinical trial.	Mawatari T, Iwamoto Y,	整形外科
J Orthop Sci 13(6):487-491, 2008	Two subtypes of radiographic osteoarthritis in the distal interphalangeal joint of the hand.	Miura H, Iwamoto Y	整形外科
J Rheumatol 35(12):2391-2394, 2008	Risk factors for developing osteonecrosis after prophylaxis in steroid-treated rabbits.	Motomura G, Iwamoto Y	整形外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Rheumatol 35(12):2395-2399, 2008	Dose effects of corticosteroids on the development of osteonecrosis in rabbits.	Motomura G, Iwamoto Y	整形外科
J Orthop Res 26(4):428-434, 2008	Dynamic activity dependence of in vivo normal knee kinematics.	Moro-oka TA, Iwamoto Y,	整形外科
Ann Rheum Dis 67(2):150-153, 2008	Histopathological prevalence of subchondral insufficiency fracture of the femoral head.	Yamamoto T, Iwamoto Y,	整形外科
Ann Rheum Dis 67(9):1299-1304, 2008	Th1 but not Th17 cells predominate in the joints of patients with rheumatoid arthritis.	Yamada H, Iwamoto Y,	整形外科
Immunopharmacol Immunotoxicol 30(1):79-90, 2008	Effects of tacrolimus (FK506) on the development of osteonecrosis in a rabbit model.	Miyanishi K, Iwamoto Y	整形外科
Oncol Rep, 19(2): 467-76, 2008	Prognostic implication of SYT-SSX fusion type in synovial sarcoma: A multi-institutional retrospective analysis in Japan.	Takenaka S, Iwamoto Y,	整形外科
J. Orthop. Res, 26(4):435-442,2008	Kinematic analysis of kneeling in cruciate-retaining and posterior-stabilized total knee arthroplasties.	Hamai S, Iwamoto Y	整形外科
Clin Orthop Relat Res, 466(5):1054-1058,2008	Pitavastatin may Reduce Risk of Steroid-induced Osteonecrosis in Rabbits: A Preliminary Histological Study.	Nishida K, Iwamoto Y.	整形外科
J Orthop Surg, 3:13,2008	Long-term follow-up on the use of vascularized fibular graft for the treatment of congenital pseudarthrosis of the tibia.	Sakamoto A, Iwamoto Y	整形外科
Arthritis Rheum, 58(5):1366-1376,2008	A novel tumor necrosis factor alpha-responsive CCAAT/enhancer binding protein site regulates expression of the cartilage-derived retinoic acid-sensitive protein gene in cartilage.	Imamura T, Iwamoto Y,	整形外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis Rheum, 58(3):778-89,2008	ADAM-12 (meltrin alpha) is involved in chondrocyte proliferation via cleavage of insulin-like growth factor binding protein 5 in osteoarthritic cartilage.	Okada A, Iwamoto Y,	整形外科
J. Arthroplasty, 23(5):736-743, 2008	Contact stress analysis of the conforming post-cam mechanism in posterior stabilized total knee arthroplasty	Akasaki Y, Iwamoto Y	整形外科
Cancer Sci, 99(4):726-32,2008	Different expression profiles of Y-box-binding protein-1 and multidrug resistance-associated proteins between alveolar and embryonal rhabdomyosarcoma.	Oda Y, Iwamoto Y,	整形外科
Histopathology. 52(7):856-64.2008	Comparative histopathological analysis between tenosynovitis and joint synovitis in rheumatoid arthritis.	Kaibara N, Iwamoto Y.	整形外科
Ann Rheum Dis 67(12):1783-1784, 2008	Rapid destruction of the hip joint in osteoarthritis.	Yamamoto T, Schneider R, Iwamoto Y, Bullough PG	整形外科
Anticancer Res, 28(3A): 1585-1592, 2008	Suberoylanilide Hydroxamic acid(SAHA)induces apoptosis or autophagy-associated cell death in chondrosarcoma cell lines	Yamamoto S, Iwamoto Y	整形外科
J Bone Joint Surg Br, 90(8):1025-1031,2008	The evaluation of post-operative alignment in total knee replacement using a CT-based navigation system.	Mizu-Uchi H, Iwamoto Y.	整形外科
J Bone Joint Surg Br, 90(9):1180-5,2008	Evaluation of impingement of the anterior tibial post during gait in a posteriorly-stabilised total knee replacement.	Hamai S, Iwamoto Y.	整形外科
J Orthop Res, 26(12):1556-61, 2008	Three-dimensional knee joint kinematics during golf swing and stationary cycling after total knee arthroplasty	Hamai S, Iwamoto Y.	整形外科
J Orthop Sci, 13(4):304-12, 2008	Validation of radiographic response evaluation criteria of preoperative chemotherapy for bone and soft tissue sarcomas: Japanese Orthopaedic Association Committee on Musculoskeletal Tumors Cooperative Study.	Ueda T, Iwamoto Y,	整形外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Orthop Sci, 13(6):543-9, 2008	Kinematic analysis of mobile-bearing total knee arthroplasty using a 6-DOF knee simulator	Hamai S, Iwamoto Y.	整形外科
Hum Pathol, 39(12):1802-8, 2008	Correlation between beta-catenin widespread nuclear expression and matrix metalloproteinase-7 overexpression in sporadic desmoid tumors.	Matono H, Iwamoto Y,	整形外科
J Pharmacol Sci 108(4):426-32, Review, 2008	Basic and translational research on proteinase-activated receptors: the role of thrombin receptor in cerebral vasospasm in subarachnoid hemorrhage.	甲斐 康稔	脳神経外科
Neuro Oncol 10(6):995-1003, 2008	Prevalence of copy-number neutral LOH in glioblastomas revealed by genomewide analysis of laser-microdissected tissues.	空閑 太亮	脳神経外科
Int J Cancer 15;123(4):787-92, 2008	Enhanced expression of NADPH oxidase Nox4 in human gliomas and its roles in cell proliferation and survival.	庄野 禎久	脳神経外科
Int J Cancer 122(8):1820-6, 2008	Narrowing of the regions of allelic losses of chromosome 1p36 in meningioma tissues by an improved SSCP analysis.	官 彦雷	脳神経外科
Journal of Artificial Organs 11(2):53-59, 2008年7月	Current status of the mechanical valve and bioprosthesis in Japan	Tokunaga S, Tominaga R	心臓外科
Transplantation 86(4):601-610, 2008年8月	Comparison of human T cell repertoire generated in xenogeneic porcine and human thymus grafts	Shimizu I, et al	心臓外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 14(4):256-257, 2008年8月	Patent ductus arteriosus with hemiazygos communication to left superior vena cava	Tanoue Y, et al	心臓外科
Surgery Today 38(9):807-814, 2008年9月	Application of cyclophosphamide-induced tolerance in α 1,3-galactosyltransferase knockout mice presensitized with Gal α 1-3Gal β 4-GlcNAc antigens	Onzuka T, Shimizu I, et al	心臓外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Artificial Organs 11(3):130-133, 2008年9月	Isolated pulmonary valve replacement: Analysis of 27 years of experience	Tokunaga S, et al	心臓外科
Circulation 118:S65-S70, 2008年9月	Local delivery of imatinib mesylate (STI571)-incorporated nanoparticle ex vivo suppresses vein graft neointima formation	Kimura S, et al	心臓外科
Operative Techniques in Thoracic and Cardiovascular Surgery 13(4) : 232-243, 2008年, winter	Aortic arch replacement procedure— Extended aortic arch replacement through the L-incision approach	Tominaga R	心臓外科
Transplantation 86(9): 1301-1310, 2008年11月	Role of the cytokine profiles produced by iNKT cells in the initial phase of cyclophosphamide-induced tolerance	Onzuka T, et al	心臓外科
Asian Cardiovascular & Thoracic Annals 16:e58-e59, 2008年12月	Graft replacement for massive mobile embolic source in brachiocephalic artery	Oishi Y, et al	心臓外科
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 136(6):1586-1592, 2008年12月	A Rho-kinase inhibitor improves cardiac function after 24-hour heart preservation	Kobayashi M, et al	心臓外科
人工臓器 37(3):130-138, 2008年12月	人工弁	徳永滋彦、富永隆治	心臓外科
Heart and Vessels 24(1):41-45, 2009年1月	Ventricular energetics in aortic root replacement for annuloaortic ectasia with aortic regurgitation	Tanoue Y, et al	心臓外科
日本心臓血管外科学会雑誌 38(2):91-95, 2009年3月	冠動脈スパズムを含む周術期難治性心筋虚血に対する塩酸フラスジルの有用性	前田武俊、他	心臓外科
Surg Today 38:379-389,2008	Current progress in neonatal surgery	Taguchi T	小児外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J pediatr Gastroenterol Nutr 46:602-606,2008	Chronological change in intramural components in severe proximally dilated jejunal atresia : an immunohistochemical study.	Masumoto K, Akiyoshi J, Nagata K, Taguchi S, Tajiri T, Taguchi T	小児外科
Pediatr Int 50:459-463,2008	Risk of respiratory syncytial virus in survivors with severe congenital diaphragmatic hernia.	Masumoto K, Nagata K, Uesugi T, Taguchi T, et al.	小児外科
e-SPEN, the European e-Journal of clinical Nutrition and Metabolism 3:e217-e219,2008	Cow's milk allergy in extremely short bowel syndrome : Report of two infants.	Masumoto K, Esumi G, Teshiba R, Nagata K, Hayashida M, Nakatsuji T, et al.	小児外科
Pediatr Surg Int 24:1123-1126, 2008	Transumbilical approach for neonatal surgical diseases : woundless operation.	Tajiri T, Ieiri S, Kinoshita Y, Masumoto K, et al.	小児外科
J Pediatr Hematol Oncol 30:447-450,2008	Diagnostic value of lectin reactive alpha-fetoprotein for neoinfantile hepatic tumors and malignant germ cell tumors : preliminary study.	Kinoshita Y, Tajiri T, Souzaki R, Tatsuta K, Higashi M, Takahashi Y, Taguchi T	小児外科
J Cancer Res Clin Oncol 134:1097-1103, 2008	Alterations of RB1 gene in embryonal and alveolar rhabdomyosarcoma: special reference to utility of pRB immunoreactivity in differential diagnosis of rhabdomyosarcoma subtype.	Kohashi K, Oda Y, Yamamoto H, Tamiya S, et al.	小児外科
Am J Surg Pathol 32:1168-1174, 2008	SMARCB1/INI1 protein expression in round cell soft tissue sarcomas associated with chromosomal translocations involving EWS: a special reference to SMARCB1/INI1 negative variant extraskeletal myxoid chondrosarcoma.	Kohashi K, Oda Y, Yamamoto H, Tamiya S, et al.	小児外科
Pediatr Surg Int 24:1095-1100, 2008	Clinical implications of a slight increase in the gene dosage of MYCN in neuroblastoma determined using quantitative PCR.	Souzaki R, Tajiri T, Higashi M, Kinoshita Y, et al.	小児外科
J Pediatr surg 43:2226-2230, 2008	Total colonic aganglionosis with or without small bowel involvement : a 30-year retrospective nationwide survey in Japan	Ieiri S, Suita S, Nakatsuji T, Akiyoshi J, Taguchi T	小児外科
International journal of dermatology, 47 (6), p.562-566, Jun 2008	Concordant over-expression of transcription factor Sp1 and vascular endothelial growth factor in extramammary Paget's disease.	Chen SY, 古江増隆	皮膚科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The British journal of dermatology, 158 (6), p.1389-1391, Jun 2008	Stromal CD10 expression is correlated with invasiveness and proliferation of extramammary Paget disease.	Xie LN、古江増隆	皮膚科
Eur J Dermatol	Association factors for atopic dermatitis in nursery school children in Ishigaki islands - Kyushu University Ishigaki Atopic Dermatitis Study (KIDS).	吹譯 紀子	皮膚科
The Journal of dermatology, 35 (7), p.426-432, Jul 2008	Dermatological legal claims in Japan.	小河 祥子	皮膚科
Evid Based Complement Alternat Med (2008)	Efficacy and Safety of a Traditional Herbal Medicine, Hochu-ekki-to in the Long-term Management of Kikyo (Delicate Constitution) Patients with Atopic Dermatitis: A 6-month, Multicenter, Double-blind, Randomized, Placebo-controlled Study.	小林 裕美	皮膚科
Dermatologic surgery 34 (7), p.891-899, Jul 2008	Excellent clinical results with a new preparation for chemical peeling in acne: 30% salicylic acid in polyethylene glycol vehicle.	大日 輝記	皮膚科
Journal of dermatological science, 51 (3), p.210-215, Sep 2008	Overexpression of phosphorylated-ATF2 and STAT3 in cutaneous squamous cell carcinoma, Bowen's disease and basal cell carcinoma.	Chen SY、竹内聡	皮膚科
Cancer Res 68 (1): 98-105, 2008	Twist promotes tumor cell growth through YB-1 expression.	Shiota M, Izumi H, Onitsuka T, et al.	泌尿器科
J Urol 179 (2): 485-490, 2008	Prevention of recurrence with epirubicin and lactobacillus casei after transurethral resection of bladder cancer.	Naito S, Koga H, Yamaguchi A, et al.	泌尿器科
Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol 376 (5): 309-319, 2008	Comparative studies of ZD0947, a novel ATP-sensitive K ⁺ channel opener, on guinea pig detrusor and aortic smooth muscles.	Yunoki T, HL Zue, Iwasa K, et al.	泌尿器科
J Magn Reson Imaging 27 (1): 132-139, 2008	Usefulness of apparent diffusion coefficient map in diagnosing prostate carcinoma: correlation with stepwise histopathology.	Yoshimitsu K, Kiyoshima K, Irie H, et al.	泌尿器科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurourol Urodyn 27 (3): 222-225, 2008	Association among the symptoms, quality of life and urodynamic parameters in patients with improved lower urinary tract symptoms following a transurethral resection of the prostate.	Seki N, Yunoki T, Tomoda T, et al.	泌尿器科
Int J Urol 15 (4): 295-298, 2008	Laparoscopic adrenalectomy for malignant tumors.	Eto M, Hamaguchi M, Harano M, et al.	泌尿器科
Clin Cancer Res 14 (9):2833-2840, 2008	Posttransplant administration of cyclophosphamide and donor lymphocyte infusion induces potent antitumor immunity to solid tumor.	Eto M, Kamiryo Y, Takeuchi A, et al.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 38 (5): 365-372, 2008	Docetaxel plus prednisolone for the treatment of metastatic hormone-refractory prostate cancer: a multicenter phase II trial in Japan.	Natio S, Tsukamoto T, Koga H, et al.	泌尿器科
J Antibiot 61 (4): 213-221, 2008	Genetic analysis of faropenem-resistant enterococcus faecalis in urinary isolates.	Hiraga N, Muratani T, Naito S, et al.	泌尿器科
Electrophoresis 29 (12): 2651-2659, 2008	Downregulation of two isoforms of ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase isozyme L1 correlates with high metastatic potentials of human SN12C renal cell carcinoma cell clones.	Tanaka T, Kuramitsu Y, Fujimoto M, et al.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 38 (4): 281-287, 2008	Survival of metastatic germ cell cancer patients assessed by international germ cell consensus classification in Japan.	Shintaku I, Satoh M, Okajima E, et al.	泌尿器科
Urology 72 (2): 354-358, 2008	Risk factors for ipsilateral adrenal involvement in renal cell carcinoma.	Ito K, Nakazawa H, Marumo K, et al.	泌尿器科
Cell Carcinom 44 (2): 202-209, 2008	Oscillatory membrane currents paradoxically induced via NO-activated pathways in detrusor cells.	Kajioka S, Nakayama S, Seki N, et al.	泌尿器科
Int J Oncol 33 (1): 41-47, 2008	Inverse relationship between E-cadherin and p27Kip1 expression in renal cell carcinoma.	Migita T, Oda Y, Masuda K, et al.	泌尿器科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Urol 15 (4): 319-321, 2008	Complication rates of ultrasound-guided prostate biopsy: a nation-wide survey in Japan.	Takehi Y, Naito S, the Japanese Urological Association:	泌尿器科
J Endourol 22 (8): 1731-1735, 2008	Evaluation of the learning curve for photoselective vaporization of the prostate over the course of 74 cases.	Seki N, Nomura H, Yamaguchi A, et al.	泌尿器科
J Pharmacol Exp Ther 327 (1): 114-123, 2008	Levcromakalim and MgGDP activate small conductance ATP-sensitive K ⁺ channels of K ⁺ channel pore 6.1/sulfonylurea receptor 2A in pig detrusor smooth muscle cells: uncoupling of cAMP signal pathways.	Kajioka S, Nakayama S, Asano H, et al.	泌尿器科
J Urol 180 (3): 904-910, 2008	Validation of partin tables and development of a preoperative nomogram for Japanese patients with clinically localized prostate cancer using 2005 International Society of Urological Pathology consensus on gleason grading: data from the Clinicopathological Research Group for Localized Prostate Cancer.	Naito S, Kuroiwa K, Kinukawa N, et al.	泌尿器科
J Cancer Res Clin Oncol 134 (12): 1385-1396, 2008	Evaluation of quality of life in patients with previously untreated advanced prostate cancer receiving maximum androgen blockade therapy or LHRHa monotherapy: a multicenter, randomized, double-blind, comparative study.	Arai Y, Akaza H, Deguchi T, et al.	泌尿器科
J Urol 180 (3): 1024-1029, 2008	Effects of photoselective vaporization of the prostate on urodynamics in patients with benign prostatic hyperplasia.	Seki N, Nomura H, Yamaguchi A, et al.	泌尿器科
Int J Urol 15 (7): 577-581, 2008	The efficacy of laparoscopic radical nephrectomy for renal cell cancer in the elderly: an oncological outcome analysis.	Harano M, Eto M, Yokomizo A, et al.	泌尿器科
Int J Urol 15 (8): 694-698, 2008	Dendritic cell therapy in combination with interferon- α for the treatment of metastatic renal cell carcinoma.	Tatsugami K, Eto M, Harano M, et al.	泌尿器科
Int J Urol 15 (9): 763-768, 2008	Japanese Urological Association guidelines on prostate-specific antigen-based screening for prostate cancer and the ongoing cluster cohort study in Japan.	Ito K, Takehi Y, Naito S, et al.	泌尿器科
Int J Probiotics and Prebiotics 3 (3): 163-164, 2008	Lactobacillus casei strain shirota and prevention of recurrence of bladder cancer.	Naito S:	泌尿器科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci 99 (19): 1950-1959, 2008	Ets regulates peroxiredoxin1 and 5 expressions through their interaction with the high-mobility group protein B1.	Shiota M, Izumi H, Miyamoto N, et al.	泌尿器科
Jpn J Endourol ESWL 21 (3): 405-409, 2008	Photoselective vaporization of the prostate: Comparison of the outcomes according to the prostate size in a series of 100 patients.	Seki N, Nomura H, Yamaguchi A, et al.	泌尿器科
Oncogene 27 (42): 5543-5553, 2008	Twist and p53 reciprocally regulate target genes via direct interaction.	Shiota M, Izumi H, Onitsuka T, et al.	泌尿器科
西日泌尿 70 (11): 587-591, 2008	小径腎癌に対する腎部分切除術の有用性・安全性の検討—根治的腎摘除術との比較—.	原野正彦、江藤正俊、濱口益光、立神勝則、上領頼之、内藤誠二:	泌尿器科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry,32(1): 42-48, 2008	The effect of atypical antipsychotics, perospirone, ziprasidone and quetiapine on microglial activation induced by interferon-gamma.	Bian Q, Kato T, Monji A, Hashioka S, Mizoguchi Y, Horikawa H, Kanba S	精神科神経科
Brain Pathol, 18: 317-325, 2008	Clinicopathological Outline of Dementia with Lewy Bodies Applying the Revised Criteria: The Hisayama Study.	Fujimi K, Sasaki K, Noda K, Wakisaka Y, Tanizaki Y, Matsui Y, Sekita A, Iida M, Kiyohara Y, Kanba S, Iwaki T	精神科神経科
J Neurosci, 28: 4897-4903, 2008	Abnormal neural oscillatory activity to speech sounds in schizophrenia: a MEG study.	Hirano S, Hirano Y, Maekawa T, Obayashi C, Oribe N, Kuroki T, Kanba S, Onitsuka T	精神科神経科
Psychiatry Res, 163: 260-269, 2008	Auditory sensory gating to human voice: a preliminary MEG study.	Hirano Y, Onitsuka T, Kuroki T, Matsuki Y, Hirano S, Maekawa T, Kanba S	精神科神経科
Cell Death Differ, (Epub ahead of print), 2008	Galectin-1 promotes basal and kainate-induced proliferation of neural progenitors in the dentate gyrus of adult mouse hippocampus.	Kajitani K, Nomaru H, Ifuku M, Yutsudo N, Dan Y, Miura T, Tsuchimoto D, Sakumi K, Kadoya T, Horie H, Poirier F, Noda M, Nakabeppu Y	精神科神経科
J Neurochem, 106(2): 815-825, 2008	Inhibitory effects of aripiprazole on interferon- γ -induced microglial activation via intracellular Ca ²⁺ regulation in vitro.	Kato T, Mizoguchi Y, Monji A, Horikawa H, Suzuki SO, Seki Y, Iwaki T, Hashioka S, Kanba S	精神科神経科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Crit Care Med, 36(1): 74-80, 2008	Incidence and prediction of psychiatric morbidity after a motor vehicle accident in Japan: The Tachikawa Cohort of Motor Vehicle Accident Study.	Matsuoka Y, Nishi D, Nakajima S, Kim Y, Homma M, Otomo Y	精神科神経科
Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol, Epub, 2008	The Tachikawa cohort of motor vehicle accident study investigating psychological distress: design, methods and cohort profiles.	Matsuoka Y, Nishi D, Nakajima S, Yonemoto N, Hashimoto K, Noguchi H, Homma M, Otomo Y, Kim Y	精神科神経科
Psychiatry Res, 163: 236-247, 2008	Functional MRI study of brain-activation alterations in patients with obsessive-compulsive disorder after symptom improvement.	Nabeyama M, Nakagawa A, Yoshiura T, Nakao T, Nakatani E, Togao O, Yoshizato C, Yoshioka K, Tomita M, Kanba S	精神科神経科
J Psychiatr Res, (Epub ahead of print), 2008	Working memory dysfunction in obsessive-compulsive disorder: a neuropsychological and functional MRI study.	Nakao T, Nakagawa A, Nakatani E, Nabeyama M, Sanematsu H, Yoshiura T, Togao O, Tomita M, Masuda Y, Yoshioka K, Kuroki T, Kanba S	精神科神経科
Depress Anxiety, (Epub ahead of print), 2008	Duration effect of obsessive-compulsive disorder on cognitive function: a functional MRI study.	Nakao T, Nakagawa A, Yoshiura T, Nakatani E, Nabeyama M, Sanematsu H, Togao O, Yoshioka K, Tomita M, Kuroki T, Kanba S	精神科神経科
Psychother Psychosom, 77: 393-394, 2008	Outcome of Additional Behaviour Therapy including Treatment Discontinuation for Fluvoxamine Non-Responders with Obsessive-Compulsive Disorder.	Nakatani E, Nakagawa A	精神科神経科
Compr Psychiat, 49(4): 393-398, 2008	Are patients after severe injury who drop out of a longitudinal study at high risk for mental disorder?	Nishi D, Matsuoka Y, Nakajima S, Noguchi H, Kim Y, Kanba S, Schnyder U	精神科神経科
Gen Hosp Psychiat, Epub, 2008	Reliability and validity of the Japanese version of the Peritraumatic Distress Inventory.	Nishi D, Matsuoka Y, Noguchi H, Sakuma K, Yonemoto N, Yanagita T, Homma M, Kanba S, Kim Y	精神科神経科
Br J Ophthalmol 92:1540-1544, 2008	VEGF expression by hyalocytes and its regulation by glucocorticoid.	Hata Y	眼科
Jpn J Ophthalmol 52:16-23, 2008	Antiangiogenic property of fasudil, a potent Rho-kinase inhibitor.	Hata Y	眼科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Invest 118:2025-2038, 2008	HIV protease inhibitors provide neuroprotection through inhibition of mitochondrial apoptosis in mice.	Hisatomi T	眼科
J Gene Med 10(12):1273-1281, 2008	Synergistic neuroprotective effect via simian lentiviral vector-mediated simultaneous gene transfer of human pigment epithelium-derived factor and human fibroblast growth factor-2 in rodent models of retinitis pigmentosa.	Miyazaki M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 49:105-112, 2008	Protective role for CD1d-reactive invariant natural killer T cells in cauterization-induced corneal inflammation	Oshima Y	眼科
Br J Ophthalmol 92(7):1009, 2008	The internal limiting membrane peeling with brilliant blue G staining for retinal detachment due to macular hole in high myopia	Mochizuki Y	眼科
Diabetes 57:2784-2793, 2008	Potent Inhibition of Cicatricial Contraction in Proliferative Vitreoretinal Diseases by Statins	Hata Y	眼科
Journal of Magnetic Resonance Imaging. September 2008	Noninvasive estimation of hepatic steatosis using plain CT vs. chemical-shift MR imaging: significance for living donors.	Yoshimitsu K, et al.	放射線科
Journal of Vascular Interventional Radiology. August 2008	Percutaneous transfemoral hepatic arterial infusion catheter placement with the use of a downsized coaxial catheter system: technical feasibility study.	Tajima T, et al.	放射線科
American Journal of Roentgenology. January 2008	Radiologic detectability of minute portal venous invasion in hepatocellular carcinoma.	Nishie A, et al.	放射線科
American Journal of Neuroradiology. June 2008	Performance evaluation of radiologists with artificial neural network for differential diagnosis of intra-axial cerebral tumors on MR images.	Yamashita K, et al.	放射線科
American Journal of Roentgenology. August 2008	MRI of glossopharyngeal neuralgia caused by neurovascular compression.	Hiwatashi A, et al.	放射線科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Roentgenology. November 2008	Usefulness of cone-beam CT before and after percutaneous vertebroplasty.	Hiwatashi A, et al.	放射線科
Radiology. December 2008	Parotid gland tumors: can addition of diffusion-weighted MR imaging to dynamic contrast-enhanced MR imaging improve diagnostic accuracy in characterization?	Yabuuchi H, et al.	放射線科
J Gastroenterol Hepatol	Association between the treatment length and cumulative dose of pegylated interferon alpha-2b plus ribavirin and their effectiveness as a combination treatment for Japanese chronic hepatitis C patients: A project of the Kyushu University Liver Disease Study Group.	Furusyo N	総合診療科
日本臨床微生物学 18, 177-183.(2008)	当院で検出された結核菌群52株の菌種同定に関する検討	諸熊由子, 内田勇二郎, 辛島貴人, 藤瀬雅子, 今村正一, 栢森裕三, 康東天.	検査部
心臓リハビリテーション (JJCR) 13, 131-134.(2008)	ペースメーカー設定と心臓リハビリテーション評価にCPXが極めて有用であった1例.	牛之濱さやか, 井手友美, 河野一郎, 日浅謙一, 前田トモ子, 堀田多恵子, 西坂麻里, 肥後大基, 高杉紳一郎, 砂川賢二, 康東天	検査部
日本検査血液学会 9, 178-186.(2008)会	九州地区における凝固検査の標準化の現状.	栢森裕三, 渡邊久美子, 栗原正子, 増本道子, 豊福美津子, 濱崎直孝, 康東天.	検査部
Ann Clin Biochem 45, 513-514.(2008)	Platelet contamination causes large variation as well as overestimation of mitochondrial DNA content of peripheral blood mononuclear cells.	Urata, M., Koga-Wada, Y., Kayamori, Y., Kang, D.	検査部
Acta Haematol 120, 31-35.(2008)	Thromboembolic Complications in Splenectomized Patients with Dominantly Inherited beta-Thalassemia.	Ohga, S., Ideguchi, H., Kato, J., Ishimura, M., Takada, H., Harada, N., Kawanaka, H., Hattori, Y., Kang, D., Hamasaki, N., Hara, T.	検査部
Eur J Pediatr.(2008)	Fulminant sepsis/meningitis due to Haemophilus influenzae in a protein C-deficient heterozygote treated with activated protein C therapy.	Ishimura, M., Saito, M., Ohga, S., Hoshina, T., Baba, H., Urata, M., Kira, R., Takada, H., Kusuhara, K., Kang, D., and Hara, T.	検査部
Thromb Res 123, 55-59.(2008)	Decreased maternal protein S activity is associated with fetal growth restriction.	Hojo, S., Tsukimori, K., Kinukawa, N., Hattori, S., Kang, D., Hamasaki, N., Wake, N.	検査部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosci 28, 8624-8634.(2008)	Reverse of age-dependent memory impairment and mitochondrial DNA damage in microglia by an overexpression of human mitochondrial transcription factor a in mice.	Hayashi, Y., Yoshida, M., Yamato, M., Ide, T., Wu, Z., Ochi-Shindou, M., Kanki, T., Kang, D., Sunagawa, K., Tsutsui, H., Nakanishi, H.	検査部
手術医学29(3):167-172, 2008	食道手術における手術室内漏洩麻酔ガス濃度の推移	引地和歌子 甲斐哲也	手術部
J Magn Reson Imaging. 2008 Apr;27(4):932-7.	Alteration of proton diffusivity associated with passive muscle extension and contraction.	Hatakenaka M, Matsuo Y, Setoguchi T, Yabuuchi H, Okafuji T, Kamitani T, Nishikawa K, Honda H	放射線部
Magn Reson Med Sci. 2008;7(1):23-9.	Apparent diffusion coefficients of breast tumors: clinical application.	Hatakenaka M, Soeda H, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Oda Y, Tsuneyoshi M, Honda H.	放射線部
Magn Reson Med Sci. 2008;7(2):59-63.	Effect of passive muscle length change on apparent diffusion coefficient: detection with clinical MR imaging.	Hatakenaka M, Yabuuchi H, Matsuo Y, Okafuji T, Kamitani T, Setoguchi T, Nishikawa K, Honda H.	放射線部
Radiology. 2008 Dec;249(3):909-16.	Parotid gland tumors: can addition of diffusion-weighted MR imaging to dynamic contrast-enhanced MR imaging improve diagnostic accuracy in characterization?	Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Okafuji T, Soeda H, Sakai S, Hatakenaka M, Nakashima T, Oda Y, Honda H.	放射線部
Magn Reson Med Sci. 2008;7(4):195-204.	Circumscribed mass lesions on mammography: dynamic contrast-enhanced MR imaging to differentiate malignancy and benignancy.	Okafuji T, Yabuuchi H, Soeda H, Matsuo Y, Kamitani T, Sakai S, Hatakenaka M, Kuroki S, Tokunaga E, Yamamoto H, Honda H.	放射線部
Clin Imaging 2009;33(2):144-145	Preaortic interazygous vein; mimicker of other pathologies.	Nishie A, Barloon T, Schreiber A.	放射線部
Eur J Radiol 2009;70(3):517-524.	Radiological detectability of minute hepatic venous invasion in hepatocellular carcinoma.	Nishie A, Yoshimitsu K, Irie H, Tajima T, Hirakawa M, Ishigami K, Ushijima Y, Okamoto D, Nishihara Y, Taketomi A, Honda H.	放射線部
J Magn Reson Imaging 2009;30(1):112-120.	MR prediction of postnatal outcomes in left-sided congenital diaphragmatic hernia using right lung signal intensity: comparison with that using right lung volume.	Nishie A, Tajima T, Aseyama Y, Ishigami K, Hirakawa M, Akeyama T, Ushijima Y, Kakihara D, Okamoto D, Yoshiura T, Masumoto K, Taguchi T, Tsukimori K, Tokunaga S, Irie H, Yoshimitsu K, Honda H.	放射線部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gen Med 10(2): 165-176,2008	VEGF function for upregulation of endogenous PIGF expression during FGF-2-mediated therapeutic angiogenesis.	Yusuke Murakami	病理部
Arteriosclerosis 200(1): 51-57,2008	VEGF function for upregulation of endogenous PIGF expression during FGF-2-mediated therapeutic angiogenesis.	Fujii Takaaki	病理部
Into J Cancer 123:1623-1630,2008	CHFR expresstion is preferentially impaired in smoking-related squamous cell carcinoma of the lung, and the diminished expression significantly harms outcomes.	Masafumi Takeshita	病理部
Cardiovascular Res 79:14-23,2008	Early atherosclerosis in Rumans: role of diffuse intimal thickening and intracellular matrix proteoglycens	Yutaka Nakashima	病理部
American Journal Physiol Heart and Circulatory Physiology 294: H2758-H2791.2008	Statins restore ischemie limb blood flow in dialetic microangiopathy via eNOSINO upregulation but not via PDGF-BB expression.	Fujii Takaaki	病理部
American Journal of pathology 173(5): 1326-1338,2008	Inhibition of nuclear translocation of apoptosis-inducing factor is an essential mechanism of the neusoprotective activity of pigment apithelium-deriued factor in a rot model of retinal degeneration	Yusuke Murakami	病理部
Human Pathology 2008 Jun	Biliary neoplasia with extensive intraductal spread associated with liver cirrhosis:a hitherto unreported variant of biliary intraepithelial neoplasia	相島 慎一	病理部
American Journal Of Surgical Pathology 2008 Nov	Extracapsular Penetration is a New Prognostic Factor in Human Hepatocellular Carcinoma.	井口 友宏	病理部
Human Pathology 2008 Oct	CD10 Immunostaining distinguishes atypical polypoid adenomyofibroma (atypical polypoid adenomyoma) from endometrial carcinoma invading the myometrium.	大石 善丈	病理部
Cancer Science 2008 Apr	Different expression profiles of Y-box-binding protein-1 and multidrug resistance-associated proteins between alveolar and embryonal rhabdomyosarcoma.	小田 義直	病理部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal Of Surgical Pathology 2008 Aug	Endometrial stromal sarcomas and related high-grade sarcomas:Immunohistochemical and molecular genetic study of 31 cases	栗原 秀一	病理部
Human Pathology 2009 Mar	Infrequent SMARCB1/INI1 gene alteration in epithelioid sarcoma: a useful tool in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor	孝橋 賢一	病理部
Clinical Cancer Research 2008年5月	Posttransplant administration of cyclophosphamide and donor lymphocyte infusion induces potent antitumor immunity to solid tumor.	Eto M .	遺伝子・細胞療法部
Transplant Infectious Disease 2008年7月	Infectious complications in chronic graft-versus-host disease: a retrospective study of 145 recipients of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with reduced- and conventional-intensity conditioning regimens.	Yamasaki S	遺伝子・細胞療法部
International Journal of Hematology 2008年10月	Reduced-intensity unrelated donor Bone Marrow Transplant for hematologic malignancies .	Kim SW	遺伝子・細胞療法部
Cytotherapy 2008年	Preparation of functionally preserved CD4+ CD25high regulatory T cells from leukapheresis products from ulcerative colitis patients, which are applicable to regulatory T cell-transfer therapy.	Sumida Y .	遺伝子・細胞療法部
Eur Arch Otorhinolaryngol 2009年1月	The engraftment of transplanted bone marrow-derived cells into the inner ear.	Orita Y	遺伝子・細胞療法部
Cancer Science 2009年1月	Allogeneic cell therapy from immunized donors with tumor antigen peptide enhances the antitumor effect after cyclophosphamide-using non-myeloablative allogeneic hematopoietic cell transplantation transplantation.	Hamaguchi M	遺伝子・細胞療法部
Blood 2009年2月	Improved outcome of allogeneic bone marrow transplantation due to breast-feeding-induced tolerance to maternal antigens.	Aoyama K	遺伝子・細胞療法部
Blood 2009年2月	Plasmacytoid dendritic cells prime alloreactive T cells to mediate graft-versus-host disease as antigen-presenting cells.	Koyama M	遺伝子・細胞療法部

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Hematology 2009年3月	Oral valganciclovir as preemptive therapy is effective for cytomegalovirus infection in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Takenaka K	遺伝子・細胞療法部
The Journal of Immunology 2008年6月	Human flt3 is expressed at the hematopoietic stem cell and the granulocyte/macrophage progenitor stages to maintain cell survival.	Kikushige Y	遺伝子・細胞療法部
Diabetes Metabolism Research and Reviews 2008年10月10日	Bone marrow or foetal liver cells fail to induce islet regeneration in diabetic Akita mice.	Akashi T	遺伝子・細胞療法部
The Journal of Experimental Medicine 2009年1月	Identification of the human eosinophil lineage-committed progenitor: Revision of phenotypic definition of the human common myeloid progenitor.	Mori Y	遺伝子・細胞療法部
International Journal of Rehabilitation Research 31:321-326,2008.	Apathy and functional recovery following first-ever stroke.	Santa N, Sugimori H, Kusuda k, Yamashita Y, Ibayashi S, Iida M	救命救急センター
Inter Med 48: 213-217, 2009	Chest Pain without Significant Coronary Stenosis after Implantation of Sirolimus-Eluting Stents	Ken-ichi Hiasa, Masao Takemoto, Ryuichi Matsukawa, Tetsuya Matoba, Takeshi Kuga and Kenji Sunagawa	救命救急センター
Ann Neurol. 2008 Nov;64(5):547-54.	Takotsubo cardiomyopathy in acute ischemic stroke.	Yoshimura S, Toyoda K, Ohara T, Nagasawa H, Ohtani N, Kuwashiro T	救命救急センター
J Hypertens. 2008 Oct;26(10):2016-21.	The impact of hyperacute blood pressure lowering on the early clinical outcome following intracerebral hemorrhage.	Itabashi R, Toyoda K, Yasaka M, Kuwashiro T,	救命救急センター
Intern Med. 2009;48(1):77-80. Epub 2009 Jan 1.	Cardiac papillary fibroelastoma as a cause of embolic stroke: ultrasound and histopathological characteristics.	Kuwashiro T, Toyoda K, Otsubo R,	救命救急センター
Clin Exp Hypertens. 2008 Apr;30(3):267-76.	Effects of valsartan or amlodipine on endothelial function and oxidative stress after one year follow-up in patients with essential hypertension.	Hirooka Y, Kimura Y, Sagara Y, Ito K, Sunagawa K.	救命救急センター

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Auton Neurosci.: Basic and Clinical 2008;142:77-81	Activation of Rho-kinase in the brainstem enhances sympathetic drive in mice with heart failure.	Ito K, Kimura Y, Hirooka Y, Sagara Y, Sunagawa K.	救命救急センター
Clin Exp Hypertens. 2009 May;31(3):281-6.	Role of inducible nitric oxide synthase in rostral ventrolateral medulla in blood pressure regulation in spontaneously hypertensive rats.	Kimura Y, Hirooka Y, Kishi T, Ito K, Sagara Y, Sunagawa K.	救命救急センター
American journal of hypertension, 21 (4), p.477-481, Apr 2008	Inhibition of nitric oxide synthetase at mid-gestation in rats is associated with increases in arterial pressure, serum tumor necrosis factor-alpha, and placental apoptosis.	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター
Journal of Ultrasound in Medicine 27 (5), p.707-713, May 2008	The Lung-to-Thorax Transverse Area Ratio at Term and Near Term Correlates With Survival in Isolated Congenital Diaphragmatic Hernia.	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター
American journal of hypertension 21 (5), p.587-591, May 2008	Neutrophil-derived Reactive Oxygen Species Can Modulate Neutrophil Adhesion to Endothelial Cells in Preeclampsia.	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター
Environmental health perspectives 116 (5), p.626-630, May 2008	Long-term effects of polychlorinated biphenyls and dioxins on pregnancy outcomes in women affected by the yusho incident.	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター
Ultrasound Obstet Gynecol	Prenatal diagnosis of congenital aneurysm of left ventricle and evaluating fetal cardiac contractility by fetal isovolumetric contraction time.	Fujita, Y.	総合周産期母子医療センター
Ultrasound Obstet Gynecol	Evaluation of fetal myocardial contractility in hydrops fetalis associated with bronchopulmonary sequestration.	Yumoto, Y.	総合周産期母子医療センター
Placenta	Gene Expression Profiles by Microarray Analysis during Matrigel-induced Tube Formation in a Human Extravillous Trophoblast Cell line: Comparison with Endothelial Cells.	Fukushima, K.	総合周産期母子医療センター
Persistent Organic Pollutants(POPS) Research in Asia	Dioxins and pregnancy outcomes in women affected by the yusho incident	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American journal of hypertension : journal of the American Society of Hypertension 21 (12), p.1343-1346; Dec 2008	Serum Uric Acid Levels Correlate With Plasma Hydrogen Peroxide and Protein Carbonyl Levels in Preeclampsia.	Tsukimori, K.	総合周産期母子医療センター
The journal of obstetrics and gynaecology research 35 (1), p.40-47, Feb 2009	Characteristics and perinatal course of prenatally diagnosed fetal abdominal wall defects managed in a tertiary center in Japan.	Hidaka, N.	総合周産期母子医療センター
Conducta fetal -Estudio ecografico de la neurologia fetal	Capter21: Podemos diagnosticar la disfuncion cerebral fetal?	Morokuma, S.	総合周産期母子医療センター
Journal of perinatal medicine 37 (1), p.66-71, Jan 2009	Correlation between the presence of liver herniation and perinatal outcome in prenatally diagnosed fetal omphalocele.	Hidaka, N.	総合周産期母子医療センター
International Journal of Eating Disorders 41: 259-264, 2008. (4月)	The duration of severe insulin omission is the factor most closely associated with the microvascular complications of type 1 diabetic females with clinical eating disorders.	Takii M, Uchigata Y, Tokunaga S, Amemiya N, Kinukawa N, Nozaki T, Iwamoto Y, Kubo C.	医療情報部
Modern Rheumatology 19: 253-259,2009.(3月)	Sixty percent of patients with rheumatoid arthritis in Japan have used dietary supplements or health foods.	Ikuyama S, Imamura-Takase E, Tokunaga S, Oribe M, Nishimura J.	医療情報部
Telemedicine journal and e-health 15 (1), p.112-117, Jan 2009	Telemedicine with Digital Video Transport System over a Worldwide Academic Network.	Shimizu S,	光学医療診療部
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery : , 2008	New real-time MR image-guided surgical robotic system for minimally invasive precision surgery International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery.	Hashizume M.	先端医工学診療部
Surgical Endoscopy 22: 985-990, 2008	Effectiveness of endoscopic surgery training for medical students using a virtual reality simulator versus a box trainer: a randomized controlled trial.	Tanoue K.	先端医工学診療部
IEEE Trans Biomed Eng 56: 426-432, 2009	Medical Navigation System for Otologic Surgery Based on Hybrid Registration and Virtual Intraoperative Computed Tomography.	Hong J.	先端医工学診療部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Chemosphere 72 (8), p.1152-1158, Jul 2008	Concentrations of polychlorinated dibenzo-p-dioxins, polychlorinated dibenzofurans, and dioxin-like polychlorinated biphenyls in blood and breast milk collected from 60 mothers in Sapporo City, Japan.	戸高 尊	油症ダイオキシン研究診療センター
Chemosphere 73 (6), p.865-872, Oct 2008	Congener-specific analysis of non-dioxin-like polychlorinated biphenyls in blood collected from 127 elderly residents in Nakagawa Town, Fukuoka Prefecture, Japan.	戸高 尊	油症ダイオキシン研究診療センター
Environmental Health 2008 Vol: 7 Issue: 1 Pages/record No.: 47	Association of clinical findings in Yusho patients with serum concentrations of polychlorinated biphenyls, polychlorinated quarterphenyls and 2,3,4,7,8-pentachlorodibenzofuran more than 30 years after the poisoning event.	神奈川 芳行	油症ダイオキシン研究診療センター
FFBS Letters 2008.01	Adiponection inhibits induction on TNF- α /RANKL-stimulated NFATc1 via the AMPK signaling.	N. Yamaguchi et al	油症ダイオキシン研究診療センター
Eropean Journal of Immunology 2008.10	DNA polymerase eta is a limiting factor for A:T mutations in Ig genes and contributes to antibody affinity maturation.	K. Masuda et al	小児歯科
Diabetes 2008.10	Diurnal variation of human sweet taste recognition threshold is correlated with plasma leptin levels.	Y. Nakamura et al	小児歯科
Orthod Craniofac Res 11: 8-16	Relationship of TMJ osteoarthritis / osteoarthrosis to head posture and dentofacial morphology	Ioi H (五百井秀樹)	矯正歯科
Key Engineering Materials 361-363: 975-978	Effects of hydrothermal treatment temperature on the crystallinity of cancellous bone type carbonate apatite foam	Wakae H (若江皇絵)	矯正歯科
Orthod Waves-Jpn Ed 67 (1):12-26	親子類似性に基づく顎顔面形態の二次元的個成長予測	相澤 淳子	矯正歯科
Orthod Waves-Jpn Ed 67 (2):108-117	下顎前突症患者の咀嚼筋活動に関する研究-最大かみしめ、ガム咀嚼時の評価-	山本 悦子	矯正歯科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem283(6): 3385-3391	Neurotrophic Factor NT-4 regulates Ameloblastin expression via full-length TrkB	Yoshizaki K (吉崎恵吾)	矯正歯科
Histol Histopathol 23(4): 423-432	Glycolytic enzyme Pgl1 is strongly expressed in the developing tooth germ of the mouse lower first molar	Honda J (本田淳也)	矯正歯科
Am J Orthod Dentofacial Orthop 134(1): 100-111	Three-dimensional analysis system for orthognathic surgery patients with jaw deformities	Terajima M (寺嶋雅彦)	矯正歯科
Am J Orthod Dentofacial Orthop 134(2): 276-287	Four-dimensional analysis of stomatognathic function	Terajima M (寺嶋雅彦)	矯正歯科
Am J Orthod Dentofacial Orthop 134: 490-495	Comparison of anterior-posterior lip positions of the most-favored facial profiles of Koreans and Japanese	Ioi H (五百井秀樹)	矯正歯科
World J Orthod 9: 329-336	Relationship between head posture and dentofacial morphology in patients with TMJ osteoarthritis/osteoarthritis	Ioi H (五百井秀樹)	矯正歯科
Angle Orthod 78(5): 793-798	TMJ osteoarthritis/osteoarthritis and immune system factors in a Japanese sample	Nishioka M (西岡真人)	矯正歯科
Austrarian Ortod J 24: 116-120	Mechanomyogram and electromyogram analyses during isometric contraction in human masseter muscle	Ioi H (五百井秀樹)	矯正歯科
J Orthod 36: 17-22	Frictional resistance in plastic preadjusted brackets ligated with low-friction and conventional elastomeric ligatures	Ioi H (五百井秀樹)	矯正歯科
Differentiation 2008	Development of a multipotent clonal human periodontal ligament cell line	Tomokiyo et al.	歯内治療科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of cellular physiology2008	Investigating a clonal human periodontal ligament progenitor/stem cell line in vitro and in vivo.	Fujii et al.	歯内治療科
日本歯科保存学雑誌2008	円錐型チップを装着したEr:YAGレーザーの根管スミヤー層除去効果	吉嶺 嘉人	歯内治療科
日本歯内療法学会雑誌2008	EDTAならびにNaOClによる根管洗浄後のSEM観察 -超音波洗浄との比較-	島 一也	歯内治療科
日本歯内療法学会雑誌2008	クロルヘキシジン添加グラスアイオンマーセメント系シーラーの抗菌作用に関する研究	西垣 奏一郎	歯内治療科
日本歯内療法学会雑誌2008	円錐型チップを用いたEr:YAGレーザーの根管内殺菌効果	松本 妃可	歯内治療科
日本歯内療法学会雑誌2008	根管破折ファイルの除去に内視鏡とEr:YAGレーザーを併用した2症例	坂田 篤信	歯内治療科
PLoS ONE 3(7)e2611,2008	Periodontal Tissue Regeneration Using Fibroblast Growth Factor-2: Randomized Controlled Phase II Clinical Trial.	M.Kitamura	歯周病科
Clinical oral implants research 19 (6), p.600-605, Jun 2008	Topical application of statin affects bone healing around implants.	Moriyama Y	義歯補綴科
Prosthodontic Research & Practice Vol. 7 (2008) , No. 2 231-233	Prosthetic and Surgical Managements of Peri-implantitis at the Flap Reconstruction Site.	Ogino Y	義歯補綴科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Local application of statin promoted bone repair through the suppression of osteoclasts and the enhancement of osteoblasts at bone-healing sites in rats.	Ayukawa Y	義歯補綴科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dental Material Journal 27: 179-186, 2008	Self-cleaning Ability of a Photocatalyst-containing Denture Base Material.	Yali Cheng	咬合補綴科
Prosthodontic Research and Practice, 7, 34-39, 2008	Effect of corrosion behavior of pure titanium and titanium alloy on fluoride addition in acidic environment by streptococcus mutans.	Yoshinari Matono	咬合補綴科
Prosthodontic Research and Practice. 7(2):225-7, 2008.	Application of Anti-Microbial Protein Lysozyme for Dental Materials	Rei Tsuji	咬合補綴科
日本味と匂学会誌 15 (3) 297-300 , 2008	トリテルペン配糖体とヒト甘味受容体 hT1R2/hT1R3の相互作用	實松敬介、重村 憲徳、中村誠司	顎口腔外科
Psychiatr Genet. 2009 Feb;19(1):6-13	Association analysis of the glutamic acid decarboxylase 2 and the glutamine synthetase genes (GAD2, GLUL) with schizophrenia	S.Arai, HShibata, et. Al	顎口腔外科
口腔腫瘍学会雑誌 20(4),291-295,2008	副耳下腺に生じた多形腺腫の1例	見立英史, 大部 一成, 笹栗正明,	顎口腔外科
日口科誌 57(2):239-244, 2008	下顎智歯抜歯後に発症した二次感染 についての検討	森山雅文、 竹ノ下康治	顎口腔外科
Mod. Rheumatol 18:86- 90, 2008	Peripheral CD4+ T cells showing a Th2 phenotype in a patient with Mikulicz's disease associated with lymphadenopathy and pleural effusion.	Miyake, K., Moriyama, M. et. Al	顎口腔外科
Oral Science Int 5:96- 103, 2008.	An anti-apoptotic role of NF- κ B in TNF α -induced apoptosis in an ameloblastoma cell line.	Hendarmin, L., Kawano, S., Yoshiga, D et.al	顎口腔外科
Res. Commun. 368:808- 814, 2008	Inhibitory effect of CT domain of CCN3/NOV on proliferation and differentiation of osteogenic mesenchymal stem cells, Kusa-A1.	Katsuki Y, Sakamoto K, Minamizato T	顎口腔外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin. Exp. Rheumatol. 26:5-12, 2008	Increase of RP105-lacking activated B cells in the peripheral blood and salivary glands in patients with Sjögren's syndrome.	Kikuchi, Y., Koarada, S., Nakamura, S	顎口腔外科
Oral Science International	An anti-apoptotic role of Nf- κ B in TNF α -induced apoptosis in an ameloblastoma cell line	Hendarmin Liafa	顎口腔外科
Cancer Letters.	A novel function of CD82/KAI-1 on E-cadherin-mediated homophilic cellular adhesion of cancer cells.	Abe M., Sugiura T., e.t.c.	顔面口腔外科
Arthritis Rheum.	Inflammatory stimuli accelerate Sjögren's syndrome-like disease in (NZB \times NZW)F(1) mice.	Deshmukh US., Ohyama Y., e.t.c.	顔面口腔外科
Journal of Oral Pathology and Medicine	Immunohistochemical analysis of interleukin-1 α , its type I receptor and antagonist in keratocystic odontogenic tumors.	Suyama Y., Kubota Y., e.t.c.	顔面口腔外科
International Journal of Oncology 34 (3), p.673-680, Mar 2009	VEGF-C and VEGF-D expression is correlated with lymphatic vessel density and lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma: Implications for use as a prognostic marker.	Sugiura T., Inoue Y., e.t.c.	顔面口腔外科
日本歯科麻酔学会雑誌 第36巻第3号 2008	脊髄性筋萎縮症患者の全身麻酔経験	仲西 八栄	歯科麻酔科
日本歯科麻酔学会雑誌 第36巻第3号 2008	開口障害を伴ったRett症候群患者の麻酔経験	原田 知佳子	歯科麻酔科
Journal of Neuroscience Methods 172 (1), p.48-53, Jul 2008	The development of a novel automated taste stimulus delivery system for fMRI studies on the human cortical segregation of taste	Kami YN	口腔画像診断科
Oral Science International 5(2)2008 pp.96-103	An Anti-apoptotic role of NF- κ B in TNF α -induced apoptosis in an ameloblastoma cell line.	樋口 勝規	口腔総合診療科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Immunology, Immunotherapy 57(9)2008.9	TARC and RANTES Enhance Antitumor Immunity Induced by the GM-CSF-Transduced Tumor Vaccine in a Mouse Tumor Model	Inoue, H., Iga, M., Xin, M., Asahi, S., Nakamura, T., Kurita, R., Nakayama, M., Nakazaki, Y., Takayama, K., Nakanishi, Y., Tani, K	先端分子・細胞治療科
Molecular and Cellular Biochemistry 319(1-2)2008.12	Construction of a high performance human fetal liver-derived lentiviral cDNA library	Kurita, R., Oikawa, T., Okada, M., Yokoo, T., Kurihara, Y., Honda, Y., Kageyama, R., Suehiro, Y., Okazaki, T., Iga, M., Miyoshi, H., Tani, K.	先端分子・細胞治療科
Cancer Science	Non-transmissible SeV encoding GM- CSF is a novel and potent vector system to produce autologous tumor vaccines	Inoue, H., Iga, H., Nabeta, H., Yokoo, T., Suehiro, Y., Okano, S., Inoue, M., Kinoh, H., Katagiri, H., Takayama, K., Yonemitsu, Y., Hasegawa, M., Nakamura, Y., Nakanishi, Y., Tani, K.	先端分子・細胞治療科

計 363 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 久保千春		
管理担当者氏名	各診療科長	診療録管理室長 水元一博	放射線部長 本田浩
	薬剤部長 大石了三	総務課長 阿部文生	医療管理課長 松田篤郎

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		外来分… 各診療科 入院分… 診療録管理室 各診療科	外来カルテは一診療科一カルテ方式で各診療科が保管。 入院カルテは平成 17 年 4 月 1 日退院分より診療録管理室にて一括保管。それ以前のカルテは各診療科が保管。エックス線写真は、検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管。
	エックス線写真	各診療科 放射線部	平成 20 年 2 月 1 日外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS (医用画像)にて電子媒体保存。一部診療に関する各科の記録書類 (紹介状、入院診療計画書等)については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管。
	処方せん 病院日誌	薬剤部 総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携センター	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課 薬剤部	
法規制則 第9条の2 及び第11条各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	

(様式第12)

		保管場所	分類方法
規則 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定状況	医療管理課	
	院内感染のための委員会の開催状況	医療管理課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療管理課	
	従業者に対する医薬品の安全な使用のための研修の実施状況	医療管理課	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療管理課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 三井 大造
閲覧担当者氏名	総務課長 阿部 文生
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.2 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,086 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,469 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,683 人	
	D: 初診の患者の数	26,396 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1 7) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。</p> <p>(2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</p> <p>(3) 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</p> <p>(4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</p> <p>(5) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。</p> <p>(6) 医療安全に係る職員の教育・研修に関すること。</p> <p>(7) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</p> <p>(8) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</p> <p>(9) その他医療安全対策の推進に関すること。</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理は、病院長のもとで医療安全管理委員会を中心に関連部署と連携し病院全体で取り組むこと。</p> <p>(2) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に積極的に参加すること。</p> <p>(3) 医療安全管理対策・改善策等の情報は、職員にフィードバックし、職員全体で共有すること。</p> <p>(4) 医療事故等が発生した場合には、医療上の最善の措置をすみやかに講じ、患者さんやご家族・ご遺族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実に、かつすみやかに説明すること。</p> <p>(5) 「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知すること。</p> <p>(6) 医療安全管理に関する基本方針を院内掲示板等にて公開すること。</p> <p>(7) 患者さんからの相談のうち、特に医療安全に関わりがあると判断された事例については、セーフティマネージャーが対応すること。</p>	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故防止のための具体的措置に関する事。</p> <p>(2) 医療事故防止対策マニュアルに関する事。</p> <p>(3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。</p> <p>(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関する事。</p> <p>(5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。</p> <p>(6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関する事。</p> <p>(7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関する事。</p> <p>(8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。</p> <p>(9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関する事。</p> <p>(10) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関する事。</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年67回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>別紙のとおり</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 手術部位確認の施行手順を一部変更し、「手術時チェックリスト」を改訂</p> <p>② 入院患者の転倒転落予防について、オリジナルでDVDを作成 入院患者向けの無料チャンネルで放映を開始</p>	

平成20年度 医療安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成20年5月26日	60分	574	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	秋好セーフティマネージャー
2	平成20年5月27日	60分	384	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	秋好セーフティマネージャー
3	平成20年5月28日	60分	350	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	秋好セーフティマネージャー
4	平成20年6月16日	90分	388	医療安全管理研修会	病院内での転倒予防 ーリスク評価と介入法のエビデンスー	リハビリテーション部講師 高杉 紳一郎
5	平成20年6月24日	50分	26	医療安全管理研修会(麻酔科蘇生科)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
6	平成20年7月10日	60分	230	医療安全管理研修会	①モニタのアラームと安全管理 ②除細動器の取り扱いについて	①日本光電 ②MEセンター 三島 博之
7	平成20年7月11日	60分	157	医療安全管理研修会	①モニタのアラームと安全管理 ②除細動器の取り扱いについて	①日本光電 ②MEセンター 三島 博之
8	平成20年7月14日	60分	221	第7回 褥瘡を治そう (褥瘡対策委員会主催)	①当院でのフットポンプによる褥瘡症例報告 ②術中看護(特殊体位を中心に) ③深部静脈血栓症(DVT)予防とフットポンプの取り扱いについて	①皮膚・排泄ケア認定看護師 宮崎 敬子 ②手術室看護認定看護師 河野 易子 ③日本シャード株式会社
9	平成20年8月22日	60分	248	医療安全・感染防止対策研修会	①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎(検査部) ②北村セーフティマネージャー
10	平成20年8月25日	60分	317	医療安全・感染防止対策研修会	①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎(検査部) ②北村セーフティマネージャー
11	平成20年8月27日	60分	261	医療安全・感染防止対策研修会	①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎(検査部) ②北村セーフティマネージャー
12	平成20年9月18日	30分	20	医療安全管理研修会(皮膚科)	インシデントレポートの入力方法について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
13	平成20年9月26日	60分	121	医療安全管理ビデオ研修会	①5Sについて ②みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
14	平成20年9月29日	60分	195	医療安全管理ビデオ研修会	①5Sについて ②みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
15	平成20年10月15日	60分	21	医療安全管理ビデオ研修会(薬剤部)	①5Sについて ②みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
16	平成20年10月16日	60分	13	医療安全管理ビデオ研修会(薬剤部)	①5Sについて ②みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
17	平成20年10月29日	90分	102	医療安全管理ビデオ研修会	病院内での転倒予防ーリスク評価と介入法のエビデンスー	ビデオ教材使用(6月16日開催分)
18	平成20年10月30日	90分	96	医療安全管理ビデオ研修会	病院内での転倒予防ーリスク評価と介入法のエビデンスー	ビデオ教材使用(6月16日開催分)
19	平成20年10月31日	90分	139	医療安全管理ビデオ研修会	病院内での転倒予防ーリスク評価と介入法のエビデンスー	ビデオ教材使用(6月16日開催分)
20	平成20年11月25日	40分	97	医療安全管理研修会	医療安全管理活動についてー九大病院の取り組みの現状ー	秋好セーフティマネージャー
21	平成20年11月26日	35分	15	医療安全管理研修会(南棟7階)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー
22	平成20年11月28日	40分	72	医療安全管理研修会	医療安全管理活動についてー九大病院の取り組みの現状ー	秋好セーフティマネージャー
23	平成20年12月9日	60分	479	医療安全管理研修会 (心肺蘇生サポート委員会主催)	ハリーコールについて	救命救急センター助教 漢那 朝雄
24	平成20年12月18日	30分	19	医療安全管理研修会(耳鼻咽喉科)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
25	平成20年12月19日	30分	19	医療安全管理研修会(整形外科)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
26	平成20年12月25日	30分	18	医療安全管理研修会(心療内科)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
27	平成20年12月26日	40分	28	医療安全・感染防止対策研修会(麻酔科蘇生科・手術部)	ハリーコールについて	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
28	平成20年1月5日	30分	39	医療安全・感染防止対策研修会(麻酔科蘇生科・手術部)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー
29	平成21年1月6日	30分	35	医療安全管理研修会(小児科)	医療安全管理活動について	秋好セーフティマネージャー 北村セーフティマネージャー

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
30	平成21年1月23日	70分	298	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学におけるMRSA感染(12/19開催感染研修会ビデオ) ②薬剤のインシデントについて ③医薬品の安全管理について	①免・膠・感染症内科助教 下野 信行(感染制御部) ②北村セーフティマネージャー ③薬剤部副部長 末安 正典
31	平成21年1月26日	70分	399	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学におけるMRSA感染(12/19開催感染研修会ビデオ) ②薬剤のインシデントについて ③医薬品の安全管理について	①免・膠・感染症内科助教 下野 信行(感染制御部) ②北村セーフティマネージャー ③薬剤部副部長 末安 正典
32	平成21年1月27日	70分	270	医療安全・感染防止対策研修会	①九州大学におけるMRSA感染(12/19開催感染研修会ビデオ) ②薬剤のインシデントについて ③医薬品の安全管理について	①免・膠・感染症内科助教 下野 信行(感染制御部) ②北村セーフティマネージャー ③薬剤部副部長 末安 正典
33	平成20年1月28日	60分	285	災害救急・医療安全管理合同セミナー (救命救急センター主催)	災害救急医療について	九州医療センター 救急部部長 小林 良三
34	平成21年2月3日	60分	239	医療安全・感染防止対策研修会	①院内で発生している事例について ②「感染対策をその手に—あなたの身近にある病院感染—」 (ビデオ教材)	①秋好セーフティマネージャー ②権藤感染対策担当看護師長
35	平成21年2月4日	60分	278	医療安全・感染防止対策研修会	①院内で発生している事例について ②「感染対策をその手に—あなたの身近にある病院感染—」 (ビデオ教材)	①秋好セーフティマネージャー ②権藤感染対策担当看護師長
36	平成21年2月5日	60分	213	医療安全・感染防止対策研修会	①院内で発生している事例について ②「感染対策をその手に—あなたの身近にある病院感染—」 (ビデオ教材)	①秋好セーフティマネージャー ②権藤感染対策担当看護師長
37	平成21年2月4日	60分	38	医療機器安全使用セミナー(医療機器安全管理 専門委員会主催/看護部・医療安全管理部・ MEセンター共催)	閉鎖式保育器(クベース)の取り扱いについて	看護部(日本看護協会新生児集中ケア認定看護師) 浦部 由紀
38	平成20年2月9日	90分	158	医療安全管理研修会	歯科領域の医療安全管理(インシデント等)について	口腔総合診療科長 樋口 勝規(副病院長) 医療経営・管理学准教授 鮎澤 純子(医療安全管理部)
39	平成21年2月25日	60分	43	医療安全管理ビデオ研修会	みんなで考えよう医療事故防止対策 他	ビデオ教材使用
40	平成21年2月26日	60分	40	医療安全管理ビデオ研修会	みんなで考えよう医療事故防止対策 他	ビデオ教材使用
41	平成21年3月6日	80分	28	医療安全管理研修会(南棟10階)	看護業務と医療安全	秋好セーフティマネージャー
42	平成21年3月19日	60分	16	医療安全管理研修会(歯内治療科)	「感染対策をその手に—あなたの身近にある病院感染—」 みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
43	平成21年3月27日	60分	52	医療安全管理研修会(顔面口腔外科)	「感染対策をその手に—あなたの身近にある病院感染—」 みんなで考えよう医療事故防止対策	ビデオ教材使用
小計			7,041	43回(一人あたり2.74回)		

○ 採用者への研修会

<対象者:採用者合同(医師・看護師・薬剤師・コメディカル・事務等)>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成20年4月1日	60分	490	新採用者合同オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
2	平成20年10月1日	25分	62	中途採用者合同オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
3	平成21年3月23日	30分	22	平成20年度採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
4	平成21年3月24日	30分	18	平成20年度採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
5	平成21年3月26日	30分	10	平成20年度採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
6	平成21年3月27日	30分	7	平成20年度採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
小計			609	6回		

<対象者:看護師>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成20年4月3日	60分	135	新採用者看護部オリエンテーション	安全確保の技術(誤薬防止手順、患者誤認防止、転倒転落防止)	秋好セーフティマネージャー(医療安全看護部委員会)
2	平成20年5月2日	90分	116	1ヶ月フォローアップ研修	薬剤の基礎知識、麻薬の基礎知識	末安医薬品安全管理副責任者
3	平成20年7月1日	60分	5	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
4	平成20年8月1日	60分	6	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
5	平成20年9月1日	60分	3	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
6	平成20年12月1日	60分	4	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
小計			269	6回		

○ 職種別研修会

<対象者:看護師>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成20年5月28日	(0.5日)×2	80	看護部院内研修「リスク管理1」レベル1	「リスク管理1」レベル1	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
2	平成20年5月29日	(0.5日)×2	86	看護部院内研修「リスク管理1」レベル1	「リスク管理1」レベル1	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
3	平成20年7月16日	35分	28	第2回 抗がん剤調製講習会	①抗がん剤曝露の危険性とその曝露防止策について ②抗がん剤調製手技のポイントと手技指導(実技)	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之、柳瀬 悠子
4	平成20年8月1日	35分	28	第3回 抗がん剤調製講習会	①抗がん剤曝露の危険性とその曝露防止策について ②抗がん剤調製手技のポイントと手技指導(実技)	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之、柳瀬 悠子
5	平成20年8月4日	(0.5日)×2	57	看護部院内研修「リスク管理」	ラダー2を目指す看護師研修「リスク管理」	秋好セーフティマネージャー
6	平成20年9月30日	35分	28	第4回 抗がん剤調製講習会	①抗がん剤曝露の危険性とその曝露防止策について ②抗がん剤調製手技のポイントと手技指導(実技)	薬剤部麻薬係 渡邊 裕之、柳瀬 悠子
7	平成20年10月2日	1日	43	看護部院内研修「医療安全」	業務担当副看護師長研修「医療安全」	秋好セーフティマネージャー
8	平成21年1月29日	(0.5日)×2	71	看護部院内研修「リスク管理2」レベル1	「リスク管理2」レベル1	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
9	平成21年1月31日	(0.5日)×2	68	看護部院内研修「リスク管理2」レベル1	「リスク管理2」レベル1	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
10	平成21年2月3日	70分	36	看護部院内研修「リスク管理」	看護助手研修「リスク管理」	秋好セーフティマネージャー 権藤感染対策担当看護師長
小計			525	10回		

<対象者:その他>

No.	開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
1	平成20年4月2日	90分	16	薬剤部研修生集中教育	薬剤部におけるリスクマネジメント	末安薬剤部副部長
2	平成20年10月9日	20分	34	委託業者職員研修	医療安全について	秋好セーフティマネージャー
小計			50	2回		
総計			8,494	67回		

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策は院内全体で取り組み、院内の異なる領域の専門家で組織化された感染制御部を常置し、院内感染防止対策を実践すること。</p> <p>(2) 病院長を委員長とする各部署の代表を構成委員とした院内感染予防対策委員会を設置し、毎月及び重大な問題が発生した場合に適宜開催すること。</p> <p>(3) 院内感染対策に関する研修会は全職員を対象として開催し、感染対策に対する意識向上を図ること。</p> <p>(4) 感染制御部は、届出が必要な感染症患者又は注意すべき感染症が発生した場合、発生部署に対し感染防止について指導すること。また、感染症法に則り保健所に届出の必要がある場合は、これを指導すること。</p> <p>(5) 感染制御部長は、感染経路の特定と原因の究明、拡大防止の具体的対応策を検討すること。また、病院長は、感染制御に必要な対応策を決定すること。</p> <p>(6) 職員は、患者との情報の共有に努めるとともに、患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合は、これに応じること。</p> <p>(7) 院内感染対策推進のため、「院内感染防止対策指針」を定期的に見直し、周知徹底を行うこと。</p>	
②院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。</p> <p>(2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。</p> <p>(3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。</p> <p>(4) 感染制御部の業務に関すること。</p> <p>(5) その他院内感染防止対策に関すること。</p>	
③従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年31回
<p>・研修の主な内容</p> <p>別紙のとおり</p>	
④感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備（有・無）</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 耐性菌の検出時の連絡、複数回検出された部署への介入</p> <p>② 感染微生物報告書、抗菌薬使用届提出状況の把握・指導徹底</p> <p>③ 針刺し事故・血液曝露事故ゼロ運動</p> <p>④ 手指衛生実施の指導・監視</p> <p>⑤ ICTラウンド評価項目の変更による感染防止対策の強化</p>	

平成20年度 院内感染対策研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	開始時刻	終了時刻	開催時間	参加人数	研修会名	場所・会場	テーマ等	講師等
1	平成20年5月26日(月)			60分	574	医療安全管理・感染防止対策研修会		①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	権藤感染対策担当看護師長
	平成20年5月27日(火)			60分	384	医療安全管理・感染防止対策研修会		①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	安永感染対策担当副師長
	平成20年5月28日(水)			60分	350	医療安全管理・感染防止対策研修会		①九州大学病院における医療安全活動 ②院内感染防止対策について(ビデオ)	感染制御部 窪田 敏夫(薬剤部)
2	平成20年8月22日(金)			60分	248	医療安全管理・院内感染防止対策研修会		①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎 ②北村セーフティマネージャー
	平成20年8月25日(月)			60分	317	医療安全管理・院内感染防止対策研修会		①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎 ②北村セーフティマネージャー
	平成20年8月27日(水)			60分	261	医療安全管理・院内感染防止対策研修会		①院内感染対策上必要な届出について ②インシデントレポートの入力方法について	①感染制御部 内田 勇二郎 ②北村セーフティマネージャー
3	平成20年9月18日(木)	17:30	19:00	90分	145	院内感染対策セミナー	臨床大講堂	新型インフルエンザとその対策	前九州大学医学部教授 柏木 征三郎
4	平成20年12月19日(金)	18:00	19:30	90分	516	院内感染対策セミナー	百年講堂大ホール	①「九州大学病院におけるMRSA感染」 ②「Surviving Sepsis Campaignガイドラインと感染症対策 -グラム陽性菌感染症を中心に」	①感染制御部助教 下野 信行 ②慶應義塾大学医学部教授 相川 直樹
5	平成20年12月26日(金)	10:30	11:00	30分	28	医療安全管理・院内感染対策研修会	麻酔科蘇生科	医療現場におけるPPEの使用法	権藤感染対策担当看護師長
6	平成21年1月5日(月)			60分	39	医療安全管理・院内感染対策研修会	麻酔科蘇生科	「九州大学病院におけるMRSA感染」	権藤感染対策担当看護師長
7	平成21年1月23日(金)	17:30	18:30	60分	298	医療安全管理・院内感染対策研修会	臨床大講堂	「九州大学病院におけるMRSA感染」(ビデオ)	
	平成21年1月26日(月)	17:30	18:30	60分	399	医療安全管理・院内感染対策研修会	臨床大講堂	「九州大学病院におけるMRSA感染」(ビデオ)	
	平成21年1月27日(火)	17:30	18:30	60分	270	医療安全管理・院内感染対策研修会	臨床大講堂	「九州大学病院におけるMRSA感染」(ビデオ)	
8	平成21年2月3日(火)	17:30	18:30	60分	239	医療安全管理・院内感染対策研修会	百年講堂大ホール	「感染対策をその手にーあなたの身近にある病院感染ー」(ビデオ)	感染対策啓発ビデオ使用
	平成21年2月4日(水)	17:30	18:30	60分	278	医療安全管理・院内感染対策研修会	百年講堂大ホール	「感染対策をその手にーあなたの身近にある病院感染ー」(ビデオ)	感染対策啓発ビデオ使用
	平成21年2月5日(木)	17:30	18:30	60分	213	医療安全管理・院内感染対策研修会	百年講堂大ホール	「感染対策をその手にーあなたの身近にある病院感染ー」(ビデオ)	感染対策啓発ビデオ使用
9	平成21年3月4日(水)	17:30	19:00	90分	264	院内感染対策セミナー	百年講堂大ホール	「ノロウイルス感染症とその対策」	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授 中込 治
小計					4,823		9回		

○ 採用者への研修会

<対象者:採用者合同(医師・看護師・薬剤師・コメディカル・事務等)>

No.	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等
1	平成20年4月1日(火)		60分	490	新採用者合同オリエンテーション		感染防止について	林感染制御部部长、 権藤感染対策担当看護師長
2	平成20年10月1日(水)		25分	62	新採用者合同オリエンテーション		感染防止について	権藤感染対策担当看護師長
小計				552		2回		

<対象者:医師>

No.	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等
1	平成20年4月3日(木)		120分×2	84	新規採用研修医オリエンテーション		手指衛生とPPE着脱演習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
2	平成20年4月4日(金)		90分×2	68	新規採用研修歯科医オリエンテーション		手指衛生とPPE着脱演習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
小計				152		2回		

<対象者:看護師>

No.	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等	
1	平成20年4月7日(月)		100分×3	135	新採用者看護部オリエンテーション		手指衛生・PPE着脱演習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会	
	平成20年4月8日(火)		100分×3		新採用者看護部オリエンテーション		手指衛生・PPE着脱演習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会	
2	平成20年5月1日(木)		90分×3	132	新採用者1ヶ月フォローアップ研修		感染防止技術の実際	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 リンクナース	
	平成20年5月2日(金)		90分×3		新採用者1ヶ月フォローアップ研修		感染防止技術の実際	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 リンクナース	
3	平成20年7月1日(火)		60分	5	中途採用者オリエンテーション		病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長	
4	平成20年8月1日(金)		60分	6	中途採用者オリエンテーション		病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長	
5	平成20年9月1日(月)		60分	3	中途採用者オリエンテーション		病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長	
6	平成20年12月1日(月)	8:25	14:30	0.5日	10	中途採用者オリエンテーション		病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
小計				291		6回			

<対象者:コメディカル>

No.	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等
1	平成20年4月2日(水)		120分	28	医療技術部新規採用オリエンテーション		手指衛生とPPE着脱演習	権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長、 感染対策看護部委員会
小計				28		1回		

○ 職種別研修会

<対象者:看護師>

	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等
1	平成20年5月28日(水)		90分	166	看護部院内研修		リスク管理1	権藤感染対策担当看護師長
	平成20年5月29日(木)		90分		看護部院内研修		リスク管理1	権藤感染対策担当看護師長
2	平成20年6月23日(月)		1日	36	看護部院内研修		感染制御	感染制御部助教 下野 信行、 権藤感染対策担当看護師長、 安永感染対策担当副師長
3	平成20年8月4日(月)		90分	57	看護部院内研修		リスク管理	権藤感染対策担当看護師長
4	平成21年1月29日(木)	8:30	12:00	139	看護部院内研修		リスク管理1	秋好セーフティ担当看護師長 権藤感染対策担当看護師長
	平成21年1月30日(金)	13:00	16:30		看護部院内研修		リスク管理1	秋好セーフティ担当看護師長 権藤感染対策担当看護師長
5	平成21年2月3日(火)	9:30	11:30	120分	36	看護部院内研修		リスク管理2 秋好セーフティ担当看護師長 権藤感染対策担当看護師長
小計					434		5回	

<対象者:その他>

No.	開催日		開催時間	参加人数	研修会名		テーマ等	講師等	
1	平成20年5月22日(木)		60分	29	ボランティア研修会		感染対策について	権藤感染対策担当看護師長	
2	平成20年9月30日(火)		45分	75	医学部保健学科看護学専攻研修会	九州大学医学部保健学科 第6番講義室	病院内の感染防止対策	権藤感染対策担当看護師長	
3	平成21年10月24日(土)	11:05	11:50	45分	平成20年度院内感染対策講習会①	百年講堂 大ホール	院内感染対策のシステム化	権藤感染対策担当看護師長	
4	平成21年10月24日(土)	9:15	10:00	45分	九州大学医学部医学科 衛生的手洗い実習 総合オリエンテーション	臨床大講堂	病院実習中に感染しない・感染させないために	権藤感染対策担当看護師長	
5	平成20年12月12日(金)	8:40	10:10	90分	100	医学部医学科学生	臨床大講堂	衛生的手洗い実習前の説明	権藤感染対策担当看護師長
6	平成20年12月12日(金)	14:00	15:30	60分	160	平成20年/ロウウイルス感染症の発生・まん延予防講習会	福岡市東区保健福祉センター 健康課	感染性胃腸炎院内感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
小計					364		6回		
総計					6,644		31回		

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の安全使用のための業務手順書に関すること 医薬品のインシデントに関すること 医薬品副作用の報告制度と発現時の報告体制に関すること（院内、厚生労働省） 医薬品の有効性、安全性、使用方法に関すること（新採用看護師対象） （内服薬の服用時期、食物との相互作用、注射薬の溶解・希釈、投与速度に注意が必要な注射薬等） 抗がん剤の取り扱いに関すること（看護師対象） （抗がん剤曝露の危険性及び曝露防止策、抗がん剤調製の実技講習等） 薬剤部におけるリスクマネジメントに関すること 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（(有) ・ 無） ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 看護師、薬剤師による病棟および外来診所配置注射薬の管理状況チェック（月1回） 配置注射薬の使用状況を各病棟に通知し、適正在庫量への調整を依頼（月1回） 薬剤師による病棟及び外来診所配置薬剤全般の管理状況チェック（3ヶ月毎） 救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（(有) ・ 無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 手順書の見直し 情報の院内通知（ホームページ、電子メール、オーダシステム上） 副作用を収集し厚生労働省へ報告 疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化 類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を変更 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 29 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機器の新規導入時に当該医療機器を使用する予定者に対する安全使用等に関する研修 2. 特定機能病院において、特に安全使用に際しての習熟が必要な医療機器に対しての定期研修 3. 既納入医療機器のバージョンアップ時における安全使用等に関する研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定（有・無）</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書に則って実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内情報は、医療安全管理部に報告され、管理者および医療機器安全管理責任者に情報が伝達される。また、医療機器安全管理委員会において各診療科等の委員への報告及び医薬品医療機器情報配信サービスの情報を院内メールにて職員に周知している。</p>	